日立液晶ディスプレイ

形名

UT32-BH700JB/JW/JR/JA
UT37-BX700J
UT42-BX700J
UT47-BX700J

このたびは日立液晶ディスプレイをお求めいただき、ありがとうございました。
本書は、各モデルの共通の取扱説明書となっています。それぞれの機種特有の取り扱いについては、UT32-BH700JB/JW/JR/JA、UT37-BX700J、UT42-BX700J、UT47-BX700J と表記しています。本文中のイラストは、主に UT32-BH700JB/JW/JR/JA で説明しています。

最初に **この取扱説明書に記載の【使用上のご注意】をお読みください。**
本体の取扱いは、この取扱説明書をよくお読みになり、ご理解のうえ正しくご使用ください。
お読みになった後は、保証書とともに大切に保管してください。

はじめに

●この「取扱説明書」を通してお読みください。特に「使用上のご注意」(5～17ページ）はよくお読みください。
●誤ったご使用方法は本機に悪い影響を与え、早く故障に至ったり、あなたや他の人々へ危害が加わったりする恐れがあります。
●本機の設置時やご使用時に何かの不具合を生じた場合には、まず最初にこの取扱説明書の「故障かな？と思ったら」のページをご覧ください。(41～43)
●万が一、本機に重大な問題が生じた場合には、電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜き、すぐ販売店にご連絡ください。

本書についてのご注意

●本書の内容は、予告なしに変更することがありますのでご了承ください。
●本書の内容は、万全を期して作成していますが、万一お気づきの点、ご不明な点がございましたらお買い上げの販売店または当社までご連絡ください。
●運用に際しましては、ハードウェアやソフトウェアの仕様、制限などの前提条件を十分にご理解いただいたうえでご活用ください。誤って運用した結果につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
●本書の内容の一部あるいは全部を、無断で複写、転載しないでください。
●本書に記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

ライセンス等について

● VGA および XGA は International Business Machines Corporation の登録商標です。
● VESA は Video Electronics Standard Association の登録商標です。
● HDMI、HDMI ロゴおよび High-Definition Multimedia Interface は HDMI Licensing、LLC の登録商標です。

ソフトウェアについて

本機に内蔵されているソフトウェアを解読したり逆利用したりすることは禁じられています。

特徴

●超薄型液晶ディスプレイ
●大画面、高精細液晶パネル
●高解像度表示
(UT32-BH700JB/JW/JR/JA : 水平 1366 x 垂直 768、UT37-BX700J/UT42-BX700J/UT47-BX700J : 水平 1920 x 垂直 1080)
●高性能画像処理エンジン
● HDMI 端子装備
● RGB 入力端子装備

もくじ

使用上のご注意

商品本体および取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。
次の内容（表示・図記号）を理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

表示について

	警 告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷＊[1]を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注 意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害＊[2]を負う可能性が想定される内容および物的損害＊[3]のみの発生が想定される内容を示しています。

＊１：重傷とは失明や、けが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒など後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要すものをさしています。
＊２：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが、やけど、感電などをさしています。
＊３：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさしています。

図記号の例

 気をつけなければならない。「注意」を示します。

 感電に気をつけなければならない。「感電注意」を示します。

 してはいけない。「禁止」を示します。

 必ず行う。「強制」を示します。

使用上のご注意

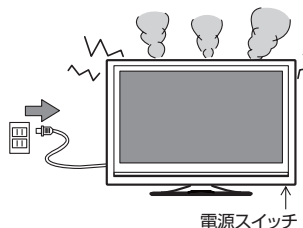
安全上のご注意

●イラストはイメージであり、実際の商品とは形状が異なる場合があります。

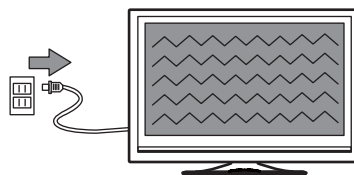
異常や故障のとき

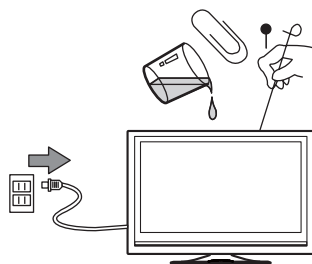
⚠警告

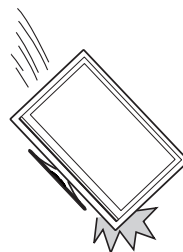
■煙が出ている、へんなにおいや音がするときは、
すぐに本機の電源スイッチを切り、
必ず電源プラグをコンセントから抜く

異常のまま使用すると、
火災・感電の原因となります。
煙が出なくなることを確認して
販売店に修理をご依頼ください。

⚠注意

■画面が映らない、音が出ないなどの故障の場合には、
すぐに本機の電源スイッチを切り、
必ず電源プラグをコンセントから抜く

それから販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると
火災・感電の原因となります。

■内部に水や異物などが入った場合は、
すぐに本機の電源スイッチを切り、
必ず電源プラグをコンセントから抜く

それから販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
特に小さなお子様がいるご家庭ではご注意ください。

■本機を落としたり、キャビネットを破損した場合は、
すぐに本機の電源スイッチを切り、
必ず電源プラグをコンセントから抜く

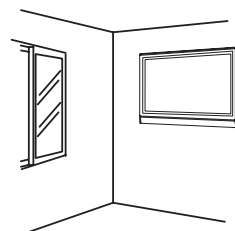
それから販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

設置するとき

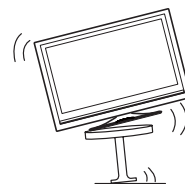
⚠警告

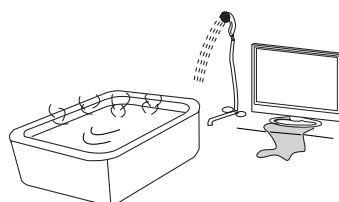
■電源プラグをすぐに抜くことができるように本機を据え付ける

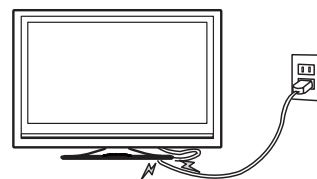
本機が異常や故障となったとき、
電源プラグをコンセントに差し込んだままにしておくと、
火災・感電の原因となることがあります。
本機は電源スイッチが「切」の状態でも、微弱な電流が流れています。

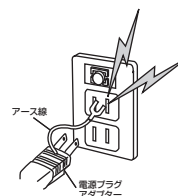
■壁に取り付ける場合は、必ず別売の専用の壁掛け金具を使用し、専門の業者に依頼する

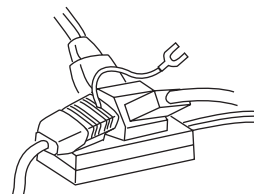
専門業者以外の人が壁掛け金具を使用して設置すると、
壁への取り付けがもろい場合に、本機が落下し、
打撲や骨折など大けがの原因となります。

■ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない

落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

■風呂、シャワー室では使用しない

火災・感電の原因となります。

■電源コードの上に重いものをのせたり、コードを本機の下敷きにしない

コードに傷が付いて、火災・感電の原因となります。
コードを敷物などで覆ってしまうと、
気付かずに重い物をのせてしまうことがあります。

■アース端子を電源コンセントに差し込まない

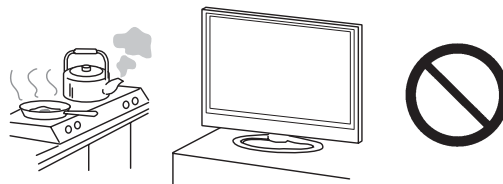
アース線は、アース端子以外には接続しないでください。
火災・感電の原因となります。

■コンセントや配線器具の定格を超える使い方や交流 100V（50/60Hz）以外では使用しない

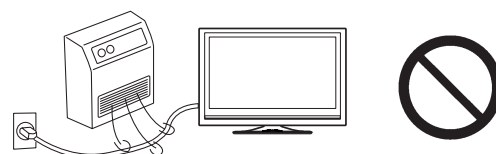
●たこ足配線など、定格を超えると発熱により、
火災・感電の原因となります。
●表示された電源電圧以外では、火災・感電の原因となります。

使用上のご注意

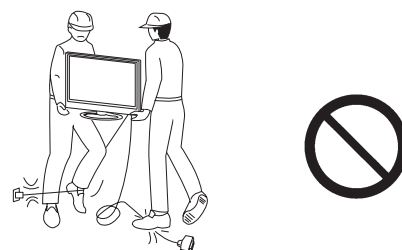
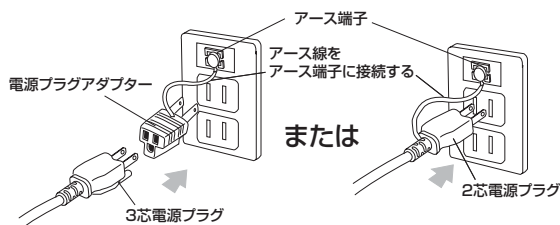
設置するとき（つづき）

⚠注意

■湿気やほこりの多い場所、調理台や加湿器のそばなど
油煙や湯気が当たるような場所やエアコンの下など、
水滴が落ちる場合のある場所に置かない

火災・感電の原因となることがあります。

■電源コードを熱器具に近づけない

コードの被ふくが溶けて、
火災・感電の原因となることがあります。

■移動させる場合は、電源スイッチを切り、
必ず電源プラグをコンセントから抜く

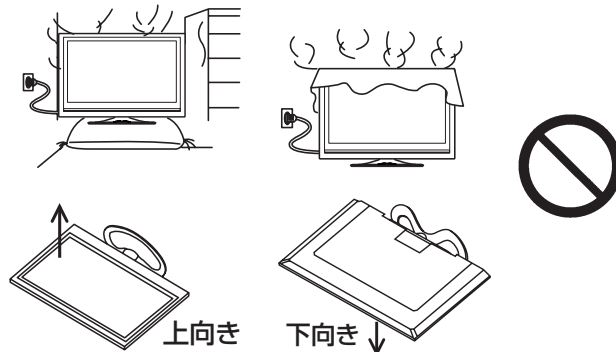
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
●アンテナ線、機器間の接続コードなど外部の接続コードを
外してから行ってください。
●本機は質量が大きく奥行きが無くて不安定なため、
一人で作業をすると思わぬけがの原因になります。

■アース線を必ず接地する (液晶ディスプレイ UT42-BX700J)
液晶ディスプレイ UT42-BX700J は安全のために必ず、
アース接地してご使用ください。

● 2 極コンセント（アースなし）の場合は、
アース工事が必要となります。アース工事は、販売店・電気工事店にご依頼ください。
● 3 芯電源プラグの場合は、付属の電源プラグアダプターをご使用ください。
●電源プラグアダプターまたは 2 芯電源プラグのアース線は、必ずアース端子に接続してください。
●アース接続は、必ず電源コードプラグをコンセントに接続する前に行ってください。
●アース接続を外す場合は、必ず電源コードプラグをコンセントから切り離してから行ってください。

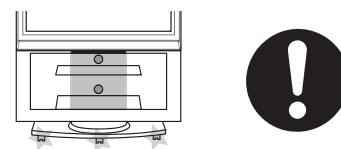
■アース線を必ず接地する
（液晶ディスプレイ UT32-BH700JB/UT32-BH700JW/UT32-BH700JR/UT32-BH700JA/
UT37-BX700J/UT47-BX700J）

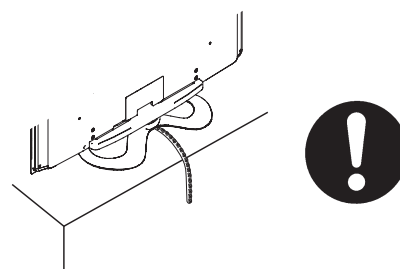
●電波障害や他機器への妨害、また、他機器からの妨害を受けないためにも、
必ずアース線を接続してご使用ください。
●電源プラグアダプター、または 2 芯電源プラグのアース線は、アース端子に接続してください。
コンセント端子に差し込むと、感電や火災の原因となります。

⚠注意

■本機の通風孔をふさがない

内部に熱がこもり、火災の原因となります。
また、本機の設置は、壁から左右 10cm 以上、
上部は 30cm 以上離す。
（壁掛け設置をする場合は除く）
特に次のような使い方はしない。故障の原因となります。
●本機を上向きや横倒し、下向きにする。
●押入れや本箱など風通しの悪い狭い所に押し込む。
●じゅうたんや布団の上に置く。
●テーブルクロスなどを掛ける。

■キャスター付きテレビ台に本機を設置する場合にはキャスター止めをする

動いて思わぬけがの原因となることがあります。

■転倒防止の処置を行なう

液晶ディスプレイが転倒し、けがの原因となることがあります。

■本機を頭や顔、手足などをぶつけるような場所に設置しない

けがの原因になることがあります。
特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。
●壁掛け・天吊り据え付け時には、
頭などをぶつけることのないように、
取り付けの高さにご注意ください。

■本機を医療機器の近く（同部屋）には設置しないでください

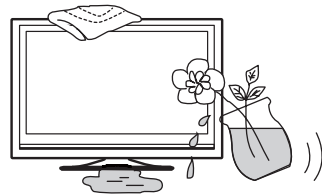
医療機器の誤動作の原因となることがあります。

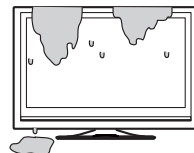
使用上のご注意

使用するとき

⚠警告

■本機の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器を置かない

こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

■本機に水をこぼしたり、ぬらしたりしない

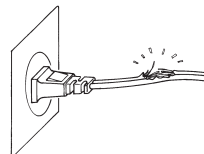
火災・感電の原因となります。
●雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

■電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除く

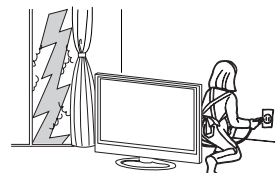
そのまま使用すると火災・感電の原因とります。

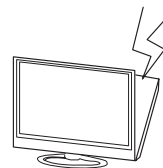
定期的（年に 1 回くらい）に清掃してください。

■電源コードを傷つけたり、加工したり、

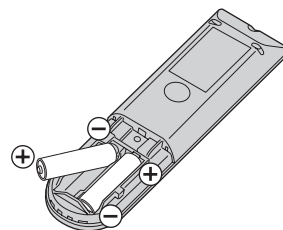
無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない

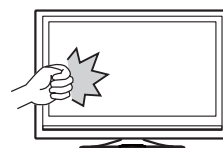
コードが破損して、火災・感電の原因となります。
電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。

■雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグには触れない

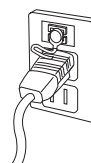
感電の原因となります。

■本機の裏ぶた、前面枠、カバーは外さない、本機を改造しない

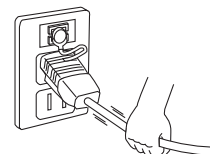
内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。
内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。

⚠注意

■間違った電池の使い方をしない

●乾電池は充電しない。
●指定以外の電池は使用しない。
●新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。
●極性表示（プラス⊕とマイナス⊖の向き）に注意し、表示どおりに入れる。
電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

■液晶パネルには、絶対に衝撃を加えない

本機の前面パネルをたたくなどして衝撃を加えるとパネルが割れ、
火災・けがの原因となります。

■電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと発熱したり、
ほこりが付着して火災の原因となることがあります。
また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

■電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない

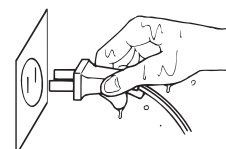
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
必ずプラグを持って抜いてください。

■電源プラグは根元まで差し込んでも ゆるみがあるコンセントに接続しない

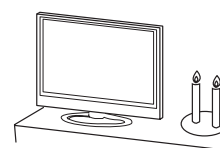
発熱して火災の原因となることがあります。
販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

■本機に乗ったり、ぶら下がったりしない

特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。
倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。

■ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。

■機器の近くにローソクなどの裸火を置かない

火災・感電の原因となることがあります。

使用上のご注意

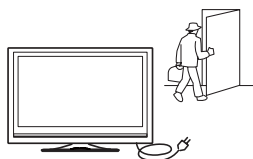
使用するとき（つづき）

⚠注意

■本機の上に重い物を置かない

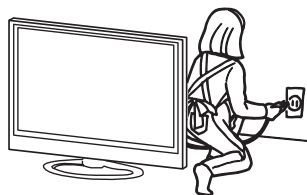
バランスがくずれて倒れたり、落下して、
けがの原因となることがあります。

■旅行などで長時間、
本機をご使用にならないときは、
安全のため必ず電源プラグを
コンセントから抜く

火災の原因となることがあります。

お手入れするとき

⚠注意

■お手入れの際は、安全のため電源プラグを
コンセントから抜いて行う

感電の原因となることがあります。

■前面枠やバックカバーのお手入れは、
柔らかい布で軽く拭いてください

前面枠やバックカバーの光沢部分は、傷が付き易いのでお手入れの際には、
必ず柔らかい布をお使いください。

■年に一度くらいは、内部の掃除を販売店などにご相談ください

本機の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。
特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。
なお、掃除費用については販売店などにご相談ください。

お守りください

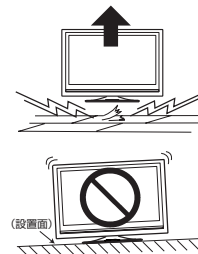
■高温になるところに置かないでください

前面枠、バックカバーやその他の部品に悪い影響を与えますのでご注意ください。

●直射日光や熱器具の近くなど。

■平坦で安定する場所に設置してください

●液晶ディスプレイをフローリングに直接床置きすることはさけてください。フローリングの材質・表面状態によっては床面とスタンドのスベリ止めが強く密着し、テレビを持ち上げた際、フローリングの表面がはがれる場合があります。

●故障の原因となるため、設置場所は十分な耐荷重強度のある、平坦で安定した場所を選んでください。(傾斜面や、カーペット・畳などの安定しない面、変形する面などに設置しないでください)

■パネルを押したり、物をぶつけたりしないでください

液晶パネル表面には保護ガラスがありません。指・手などで押したり物をぶつけると、液晶セル・ガラスが破損し、故障やけがの原因となります。

■パネルのお手入れは、柔らかい布で拭いてください

●本機のパネル表面は、特殊なフィルムやコーティングが施されています。お手入れの際には、柔らかい布(綿・ネル等)で軽く乾拭きしてください。

●硬い布で拭いたり、強く擦ったりしますと、パネル表面のフィルムや特殊コーティングが傷付きますのでご注意ください。

●指紋など油脂類の汚れがひどい場合は、水で薄めた中性洗剤に柔らかい布をひたしよく絞ってからふき取り、乾いた柔らかい布で仕上げてください。

●ガラス用クリーナーやスプレー式のクリーナーは、パネル表面が変質したり、フィルムや特殊コーティングがはがれたり、内部に侵入し、故障の原因になる恐れがあるので、使用しないでください。

●化学ぞうきんやアルコール、ベンジン、シンナー、酸性 / アルカリ性 / 研磨剤入り洗浄剤などは、その成分により、パネル表面が変質したり、フィルムや特殊コーティングがはがれたり、変色する恐れがありますので、ご使用にならないでください。

■前面枠やバックカバーのお手入れの際、ベンジン、シンナーなどは使用しないでください

●前面枠やバックカバーの表面をベンジン、シンナーなどでふいたり、殺虫剤などの揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触したままにしないでください。変質したり、塗料がはがれるなどの原因となります。

●化学ぞうきんは、前面枠やバックカバーが変質する原因となりますのでご使用にならないでください。

●前面枠やバックカバー、操作パネル部分の汚れは、柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときには、水で薄めた中性洗剤に布をひたしよく絞ってからふき取り、乾いた布で仕上げてください。
特に、次の洗剤などは亀裂や変色、傷付きの原因となりますので使用しないでください。
・酸･アルカリ性洗剤、アルコール系洗剤、みがき粉、粉石鹸、OA クリーナー、カーワックス、ガラスクリーナー類、化学ぞうきんなど

●前面枠やバックカバーの光沢部分は、傷が目立ちやすいので、お手入れ、お取扱いには特にご注意願います。

■輸送する場合は、必ず本機用の梱包箱・クッションをご使用ください

●引越しや修理などで本機を運搬する場合は、本機用の梱包箱とクッション材をご使用ください。

●横倒しでの輸送はしないでください。パネルが破損する、または面欠点が増加する可能性があります。

■乾電池を廃棄する場合は、プラス・マイナス端子に絶縁テープを貼るなどして絶縁状態にしてから「所在自治体の指示」に従って廃棄してください

他の金属片等導電性のあるものと一緒に廃棄したりするとショートして、発火、破裂の原因となることがあります。

■本機および本機の破片、付属品を廃棄するときは、必ず、販売店にご相談ください

お守りください（つづき）

■液晶ディスプレイをご覧になるときは、適度な距離と明るさでご覧ください

●画面の縦の長さの３～７倍離れた場所でご覧になれば、見やすくて目が疲れにくくなります。
●暗すぎる部屋は目を疲れさせるのでよくありません。
●長時間連続して画面を見ていると目が疲れます。時々、画面から離れて目を休めてください。

■適度な音量で隣り近所へ配慮してください

特に夜間での音量は小さい音でも通りやすいので、窓を閉めたりヘッドホンを利用したりして、隣り近所に対し十分の配慮をして、生活環境を守りましょう。

■スピーカー部のお手入れは布を使用しないでください

スピーカー部には小さな穴が開いており、布で拭くとほこりがセットの中に入ってしまいます。お手入れの際は先端に柔らかなブラシのついた掃除機で軽く吸い取って下さい。

お知らせ

■面欠点について

パネルは、精密度の高い技術で作られていますが、画面の一部に欠点（光らない点）や輝点（余計に光る点）が存在する場合があります。これは故障ではありません。

■残像について

静止画（画面表示、放送局側から送られる時刻表示など）やメニュー表示を短時間（約 1 分程度）表示し、映像内容が変わったときに前の静止画が残像として見えることがありますが、自然に回復します。故障ではありません。

■低温度環境での使用について

液晶の特性により、周囲の温度が下がるにつれ液晶の応答速度が遅くなり、映像が残像として見えることがありますが、故障ではありません。常温環境下に戻し、しばらくすると回復します。

■パネル表面温度について

液晶ディスプレイは、内蔵している蛍光ランプを点灯させることにより映像を表示しています。そのため、液晶パネルの表面温度が高くなる場合があります。

■本機の温度について

本機は、長時間使用したときなどに、上部やパネル表面が熱くなる場合があります。手で触れると熱く感じる場合もありますが、故障ではありません。

■パネル駆動音について

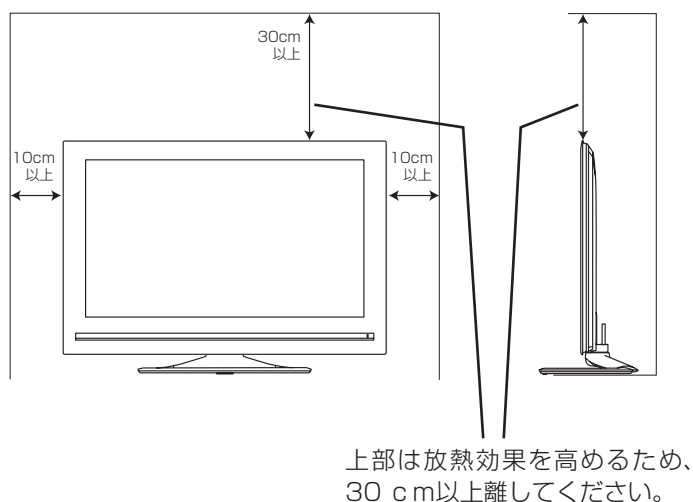
視聴中に、「ジー」というパネルの駆動音が聞こえることがありますが、故障ではありません。

使用上のご注意

据え付けるときのご注意

① 本機の周囲は放熱のための空間を十分に確保してください。
② 密閉したケースや棚などに設置したり、通風孔をふさいだりすると内部に熱がこもり火災の原因となることがあります。
③ 強い衝撃や振動が加わらない場所に設置してください。

液晶ディスプレイ

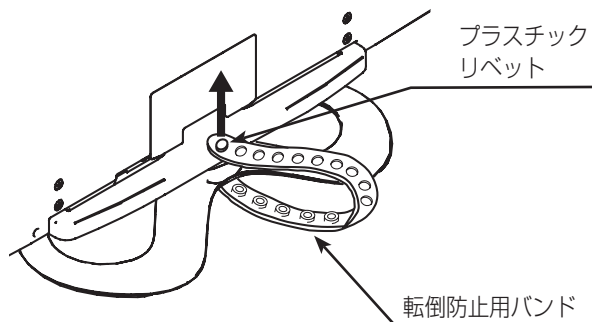
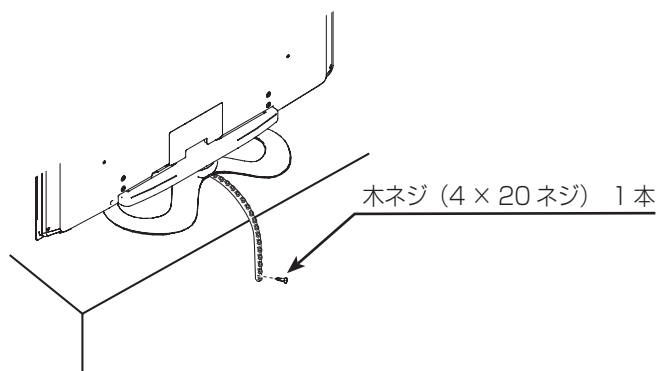
上部は放熱効果を高めるため、
30 ｃｍ以上離してください。

⚠注意
本機の据え付けには性能および安全性を維持するために必ず別売りのスタンドや専用のオプションユニットをご使用ください。標準スタンドを使用せずに、別の取り付け強度が不足する部材を使用すると、転倒したり落下して火災・感電・けがの原因となります。

⚠注意
通風孔をふさがないように据え付けてください。
通風孔をふさぐと熱がこもり、故障や火災の原因となることがあります。

転倒防止について

スタンドご使用時の転倒防止について

地震等での製品の転倒・落下によるけがなどの危害軽減するために、転倒防止対策を行って下さい。

1 プラスチックリベットをはずす

2 転倒防止バンドの穴へ、付属の木ネジ（4 x 20）を取り付けて固定する。

⚠注意

転倒・落下防止器具を取り付ける壁や台の強度によっては、転倒・落下防止効果が大幅に減少します。その場合は適当な補強を施してください。また、転倒・落下防止対策はけがなどの危害の軽減を意図したのもですが、全ての地震に対してその効果を保証するものではありません。

クイックスタートガイド

1 付属品（オプションを含む）

取扱説明書

リモコン送信機

単 3 形乾電池（2 本）

電源コード（3 芯）
電源アダプター
または
電源コード（2 芯）

端子カバー

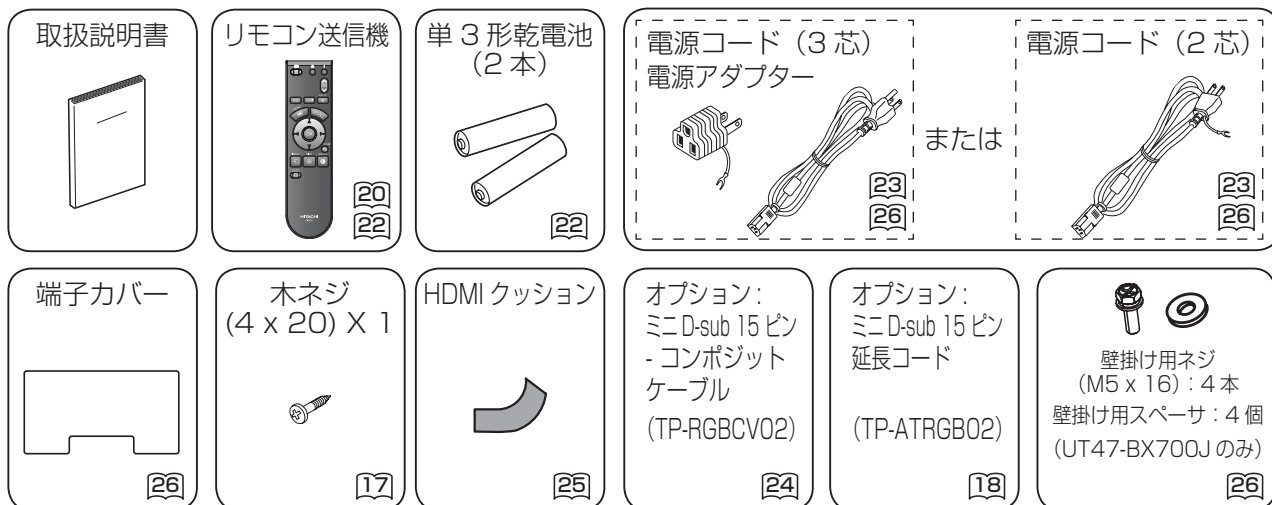
木ネジ
(4 x 20) X 1

HDMI クッション

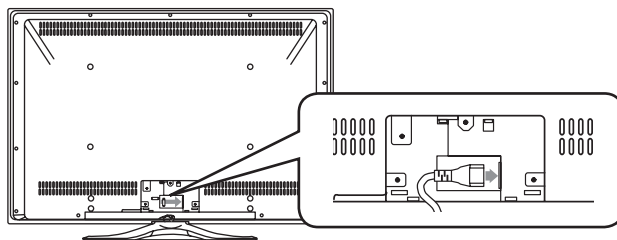
オプション：
ミニ D-sub 15 ピン
- コンポジット
ケーブル
(TP-RGBCV02)

オプション：
ミニ D-sub 15 ピン
延長コード
(TP-ATRGB02)

壁掛け用ネジ
(M5 x 16)：4 本
壁掛け用スペーサ：4 個
(UT47-BX700J のみ)

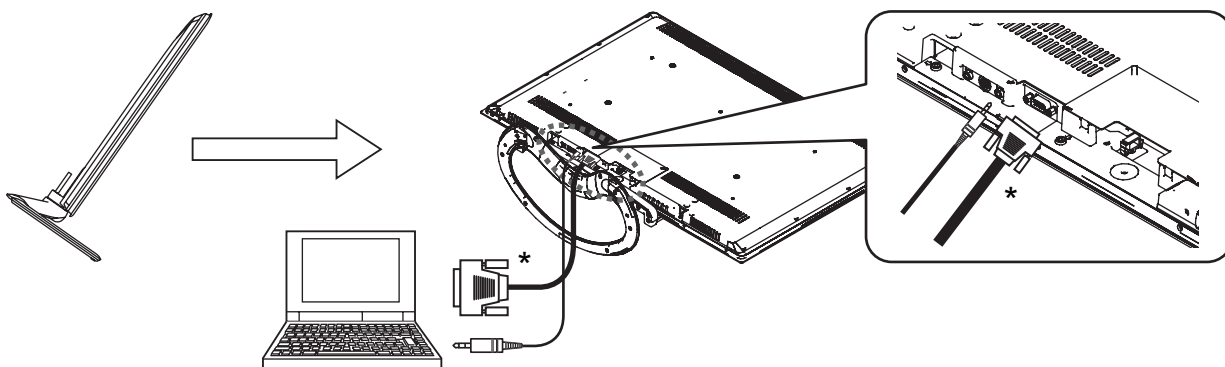
26

●電源コードと電源アダプターは、必ず付属品をお使いください。

2 接続 23 ～ 26

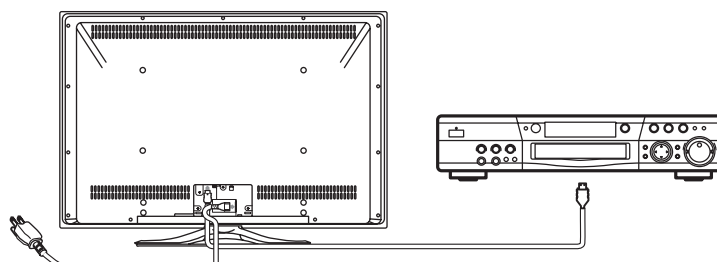
①電源コードを液晶ディスプレイに接続する。

②外部機器を接続する。

（例 1）PC（パソコン）との接続の場合

ミニ D-Sub15 ピン RGB 接続コードを接続します。端子は本体下部にありますので、下図のように本体を傾けてから取付けてください。

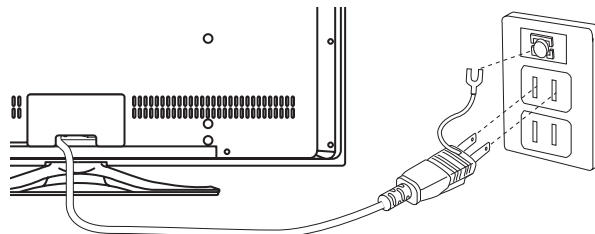
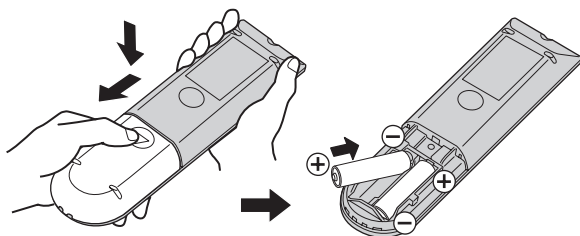
この時、パネルに損傷を与えないようにご注意ください。

* 接続ケーブルの取り外しを容易に行うには、オプションのミニ D-Sub15 ピン延長コードのご使用をおすすめします。

（例 2）DVD プレイヤーとの接続の場合

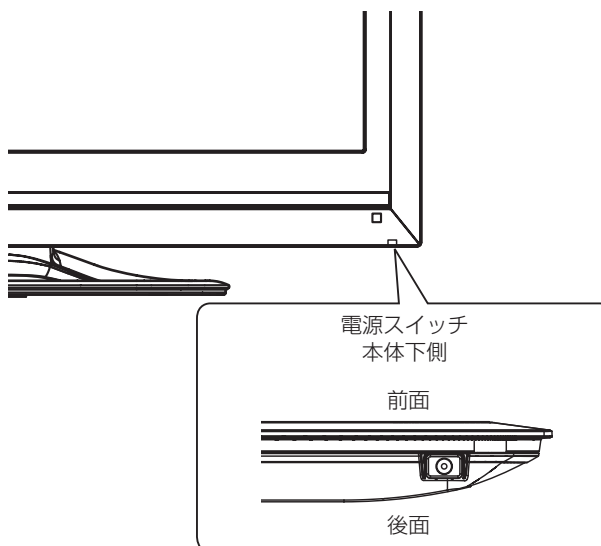
HDMI ケーブルを接続します。

2 接続 23 ～ 26（つづき）

③液晶ディスプレイの電源プラグをコンセントに差し込む。

⚠警告
指定の電源電圧でご使用ください。指定された電源電圧以外で使用すると、火災・感電の原因となります。

⚠注意
電源プラグをすぐに抜くことができるように本機を据え付けてください。

3 リモコンの電池ぶたをはずし、乾電池を入れる 22

4 電源を入れる 27

電源ボタンを押す。

●本体のスタンバイ / 電源ランプが緑色に点灯し、電源が入ります。

5 言語を選択する

メニューの「言語設定」は、お買い上げ時は日本語に設定されています。

①メニューボタン（MENU）を押す。

②(▲▼)で「言語設定」を選び、決定ボタン（OK）を押す。

③(▲▼)で設定したい言語を選び、決定ボタン（OK）を押す。

言語設定
○ English
○ English (US)
○ Français
○ Español
○ Deutsch
◉ 日本語
○ 简体中文
○ 繁體中文

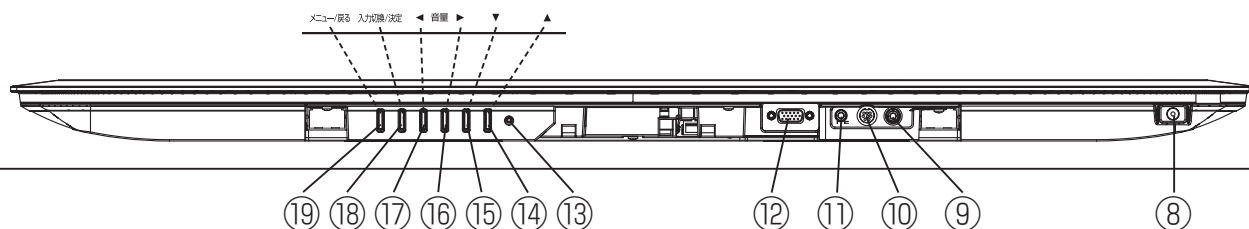
▲▼ 選択　OK 決定　戻る

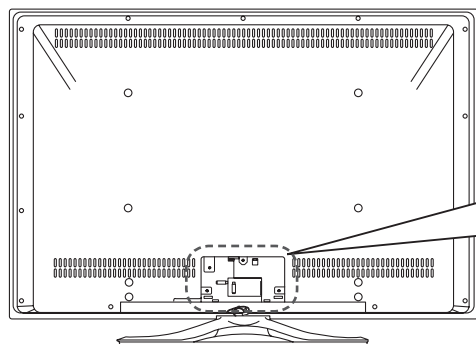
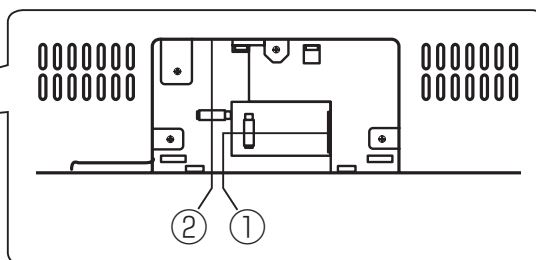
各部のなまえ

リモコン

電源ボタン
電源を「入 / 切（スタンバイ状態）」にします。
電源切ボタン
電源を「切（スタンバイ状態）」にします。
RGB ボタン
RGB（/ コンポジット）入力に切り換えます。
メニューボタン
いろいろな設定や調整を行うメニュー画面を表示します。
カーソルボタン
メニューの項目を選ぶときに使用します。
決定ボタン
カーソルで選んだメニュー項目や設定内容を決定します。
入力切換ボタン
入力モードを切り換えます。
HDMI → RGB (/ コンポジット)
自動調節ボタン
RGB モードで自動的に画像の位置などを調節します。
電源入ボタン
電源を「入」にします。
音量アップ / ダウンボタン
音量を調節します。
ミュートボタン
音声を一時的に消します。
HDMI ボタン
HDMI 入力に切り換えます。
画面表示ボタン
入力モードや入力信号状態を表示します。
戻るボタン
一つ前の画面に戻ります。
映像モードボタン
映像モードを選択します。
スーパー → スタンダード
シネマティック
ワイド切換ボタン
ワイドモードを切り換えます。
VOL
MUTE
RGB
HDMI
MENU
RECALL
OK
RETURN
INPUT
SIZE
P.MODE
AUTO
HITACHI
C-RQ2

本体前面

①本体
②パネル
③リモコン受信窓
④スタンバイ / 受像ランプ
⑤スピーカー
⑥イルミネーションランプ
⑦スタンド

⑧電源スイッチ
⑨ IR 端子
⑩ RS-232C 端子
⑪ PC(RGB)/DVI アナログ音声入力端子
（ステレオミニジャック）
⑫ RGB 入力端子 (ミニ D-sub 15 ピン)
⑬リセットボタン42
⑭カーソル▲ボタン
⑮カーソル▼ボタン
⑯音量アップ / カーソル▶ボタン
⑰音量ダウン / カーソル◀ボタン
⑱入力切換 / 決定ボタン
⑲メニュー / 戻るボタン

本体後面

①電源コードコネクタ
② HDMI 入力端子

お知らせ

外部制御端子について

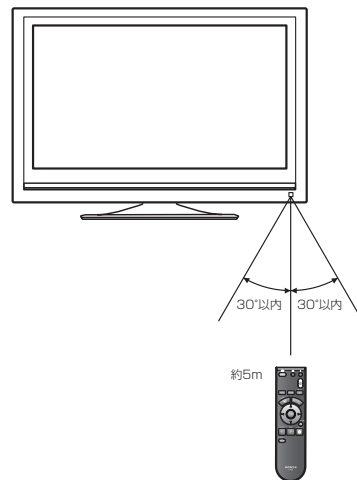
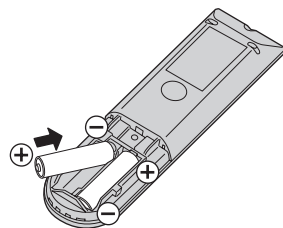
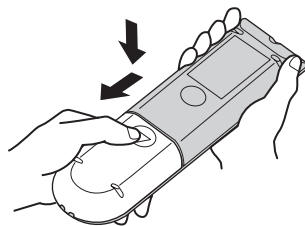
IR 端子および RS-232C 端子は、外部制御用専用端子です。詳細仕様については、お買い上げ販売店または当社にお問い合わせください。

準備

リモコンの取り扱い

1. 電池ぶたをはずす
矢印の方向に押しながら開けます。

2. 電池を入れる
付属の単 3 形乾電池を⊕、⊖の表示どおりに入れます。

3. 電池ぶたを閉める
電池ぶたを矢印の方向に押して戻します。

●リモコンは、液晶ディスプレイ本体のリモコン受信窓に向けて操作します。
●リモコンは、それぞれのリモコン受信窓の正面から約 5 メートル、左 30 度、右 30 度の範囲内でお使いください。

⚠注意

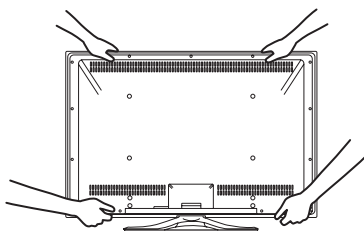
乾電池の使用上のご注意

●本機で指定されていない電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがの原因となることがあります。
●電池を機器内に挿入する場合、極性表示プラスとマイナスの向きに注意し、機器の表示通り正しく入れてください。まちがえますと電池の破裂、液もれにより、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

お守りください　リモコンの使用上のご注意

●リモコンを落としたり、衝撃を与えないでください。
●リモコンに水をかけたり、ぬれたものの上に置かないでください。故障の原因になります。
●長時間ご使用にならない場合は、乾電池をリモコンから取り出しておいてください。
●リモコンの操作がしにくくなった場合は、乾電池を交換してください。
乾電池を入れる前に、乾布などで電池端子部をきれいにふいてください。端子部が汚れていると、接触不良のために正常に動作しないことがあります。
●リモコン受信窓に直射日光などの強い光が当たると動作しなくなることがあります。光が直接当たらないように液晶ディスプレイの向きを変えてください。
●電子レンジなどの加熱料理器に、リモコン送信機・乾電池を入れて加熱しないでください。発熱により火災・故障の原因になります。
●ふた無しで使用すると、金属物などで乾電池がショートし発熱、液もれ、破裂などさせるおそれがありますので、必ずふたを閉めてご使用ください。

移動するときのご注意

●移動するときは、二人作業で持ち運びしてください。

接続

お守りください

接続時のご注意

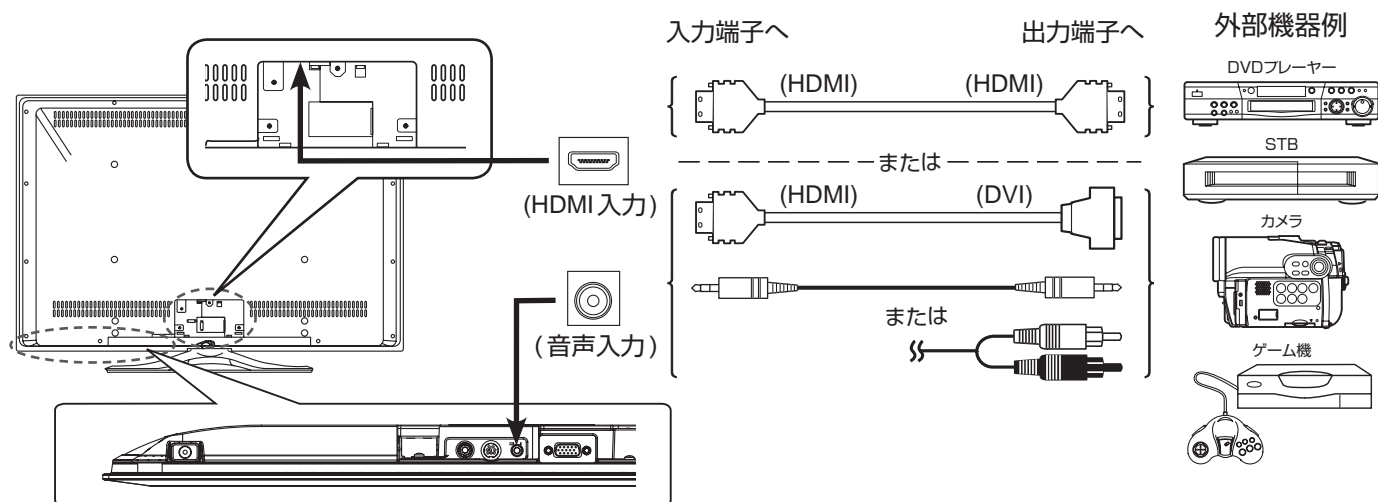
●他の機器と組み合わせてご使用になるときにはそれぞれの取扱説明書をよくお読みください。
●接続の際は各機器の電源を切ってから行ってください。電源を入れた状態で接続すると、大きな音が出たり故障の原因となることがあります。

1. 液晶ディスプレイに電源コードを接続する

すべての接続が完了するまでは、電源プラグをコンセントに差し込まないようにしてください。

2. お手持ちの機器と接続する

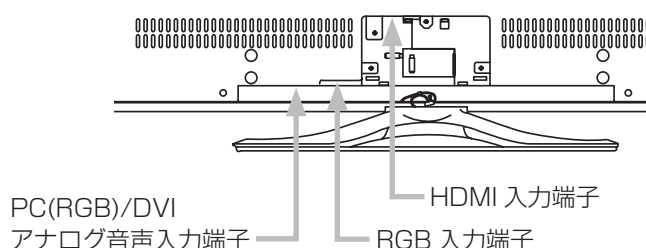
HDMI 出力対応機器と接続する

本機は、HDMI または DVI 出力対応機器との接続ができます。
DVI 出力対応機器は HDMI-DVI ケーブルを使用して接続ができます。この時、アナログ音声信号は PC(RGB)/DVI アナログ音声入力端子に接続してください。

お知らせ

● HDMI 規格に適合していないケーブルは使用できません。HDMI ロゴの表示があるケーブルを使用してください。
● 1125p（1080p）の映像信号を入力する場合は、カテゴリ 2（HIGH SPEED）対応品をご使用ください。
●出力する機器側の信号切り換えや操作により画面や音声にノイズが入る場合がありますが、故障ではありません。
●対応する信号については46を参照してください。

メ モ

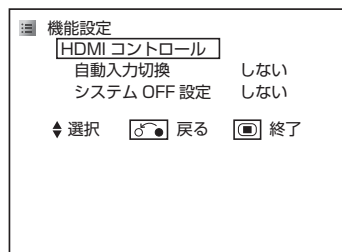
アナログ音声入力信号について

この端子は、以下のいずれかの場合に使用できます。
① RGB 入力端子に PC（パソコン）を接続する場合。
② HDMI 入力端子に DVI 出力対応機器を接続する場合。

2. お手持ちの機器と接続する（つづき）

HDMI 出力対応機器と接続する（つづき）

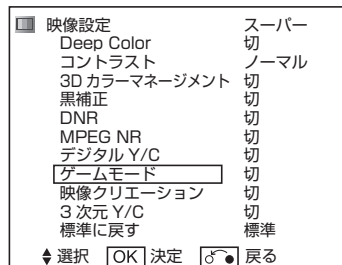
HDMI-CEC 対応機器との連携

HDMI-CEC 対応機器を接続して、外部機器と連携した操作を行うときに設定します。

1. メニューボタン（MENU）を押す。
2. 「機能設定」を選択する。
3. 「HDMI コントロール」を選択する。
4. 「自動入力切換」または「システム OFF 設定」を選択する。

自動入力切換	しない	外部機器で再生動作をすると自動的に電源が入り、HDMI 入力に切り換わります。（「する」設定時）
	する	
システム OFF 設定	しない	本機の電源を「切」にすると、外部機器の電源も「切」にできます。（「する」設定時）
	する	

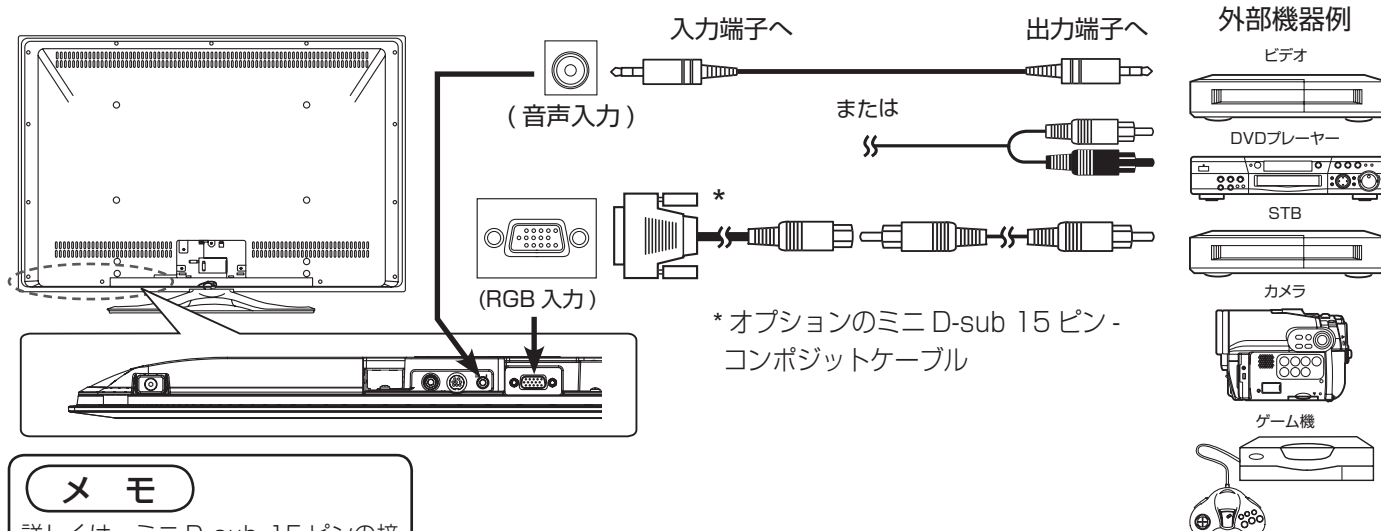
ゲームモード（UT37/42/47-BX700J のみ）

テレビゲーム使用時に、ゲーム機のコントローラーの操作に対する映像の遅れを軽減することができます。（「入」設定時）

1. メニューボタン（MENU）を押す。
2. 「映像設定」を選択する。
3. 「ゲームモード」を選択する。

ビデオ出力端子付き機器と接続する

オプションのミニ D-sub 15 ピン - コンポジットケーブルを使用することにより、ビデオ出力端子付機器と接続することができます。

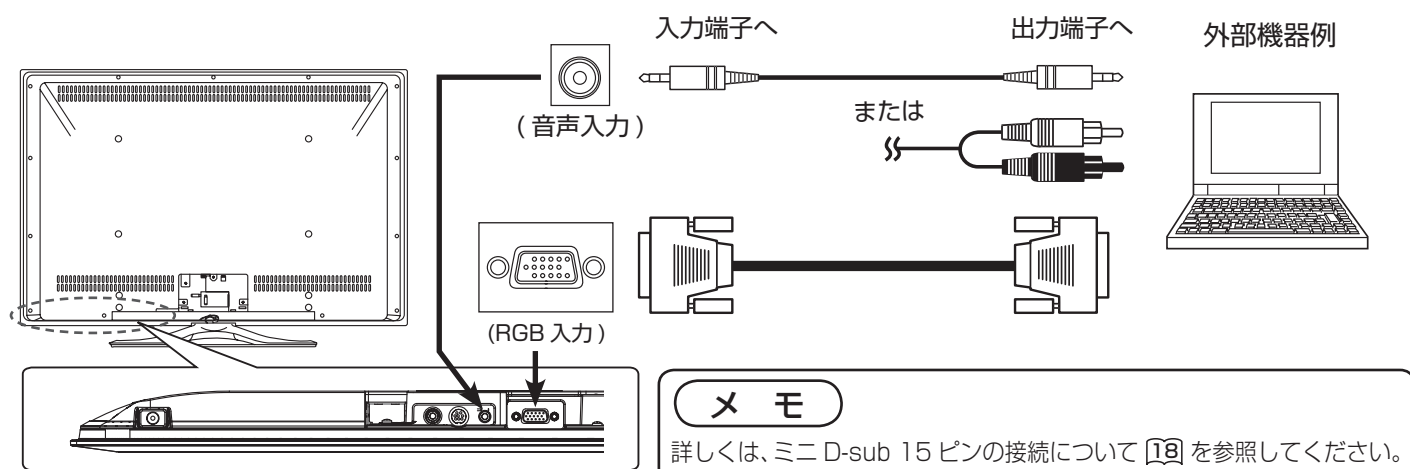
* オプションのミニ D-sub 15 ピン - コンポジットケーブル

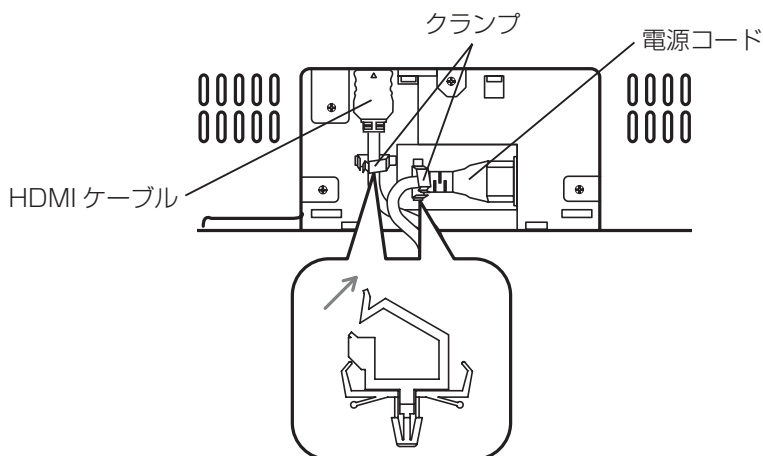
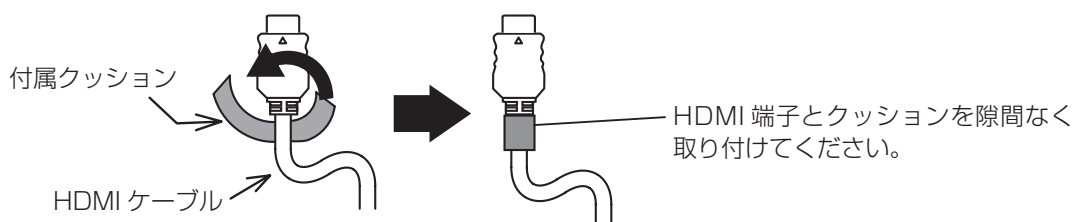
メ モ

詳しくは、ミニ D-sub 15 ピンの接続について 18 を参照してください。

PC（パソコン）と接続する

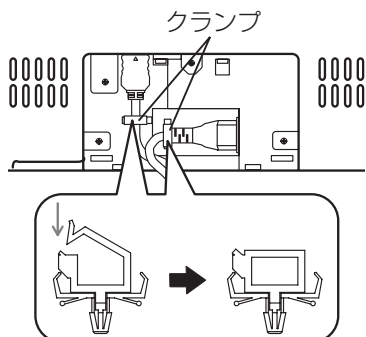
本機のRGB入力端子とPC(RGB)/DVIアナログ音声入力端子にPC(パソコン)を接続することにより、PC(パソコン)の映像・音声を楽しむことができます。

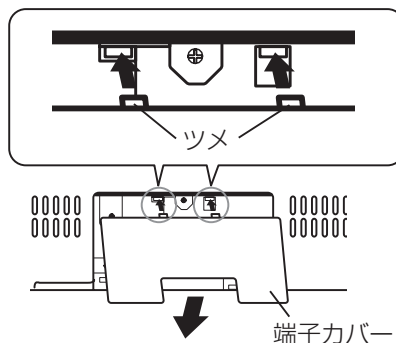
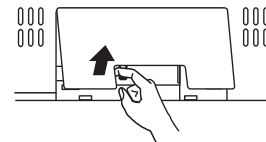
メ　モ

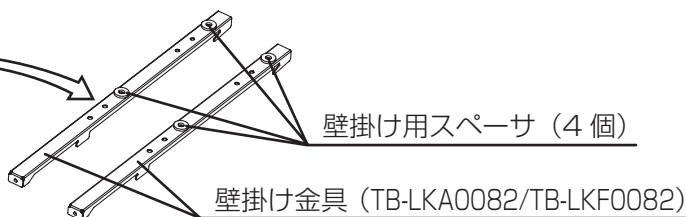
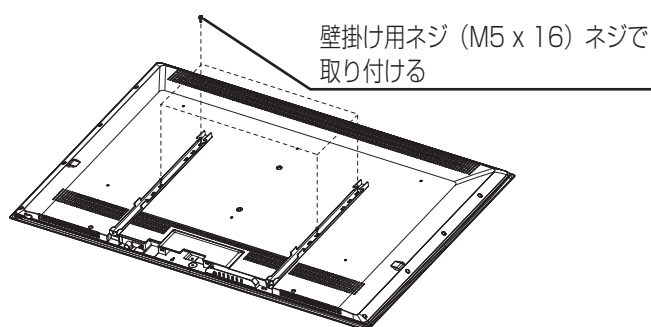
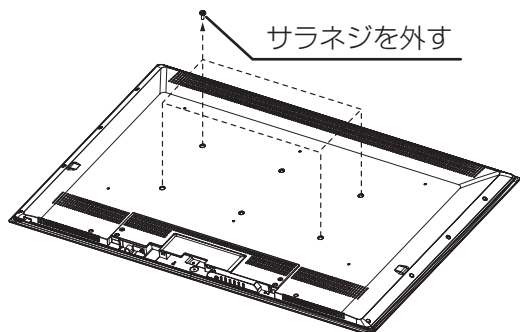
詳しくは、ミニ D-sub 15 ピンの接続について 18 を参照してください。

3. クランプ、端子カバーの取り付け

1　2 つのクランプを開き、HDMI ケーブルと電源コードを開いたクランプを通してディスプレイに接続する

HDMI ケーブル接続後、クランプとの間にガタがある場合は、付属クッションを取り付けてください。

（次ページにつづく）

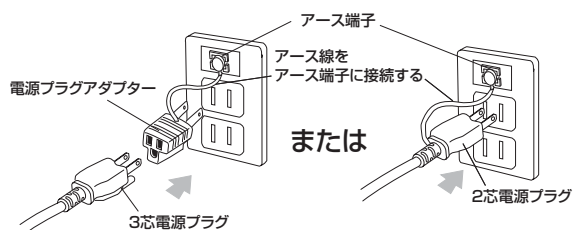
3. クランプ、端子カバーの取り付け（つづき）

2 HDMI ケーブルと電源コードをクランプで固定する

3 端子カバーを取り付ける

先に上のツメを入れて押し込むように取り付けてください。

4. 壁掛け用スペーサ取り付けについて（UT47-BX700J のみ）

1 付属の壁掛け用スペーサを壁掛け金具（TB-LKA0082/TB-LKF0082）に取り付ける

2 壁掛け固定ネジを、付属の壁掛け用ネジ（M5 x 16）と取り換える（4 か所）

お知らせ

壁掛け用スペーサ取り付け以外については、壁掛け金具（TB-LKA0082/TB-LKF0082）の取扱説明書をご覧ください。

5. 電源プラグをコンセントに差し込む

⚠注意

- 電源コードと電源アダプターは、必ず付属品をご使用ください。
- 指定の電源電圧でご使用ください。指定された電源電圧以外で使用すると、火災・感電の原因となります。
- 電源プラグをすぐに抜くことができるように本機を据え付けてください。本機が異常や故障となったとき、電源プラグをコンセントに差し込んだままにしておくと火災・感電の原因となることがあります。
- ３芯電源プラグの場合は、付属の電源プラグアダプターをご使用ください。
- 電源プラグアダプターまたは 2 芯電源プラグのアース線は、必ずアース端子に接続してください。

基本操作

電源を入れる / 切る

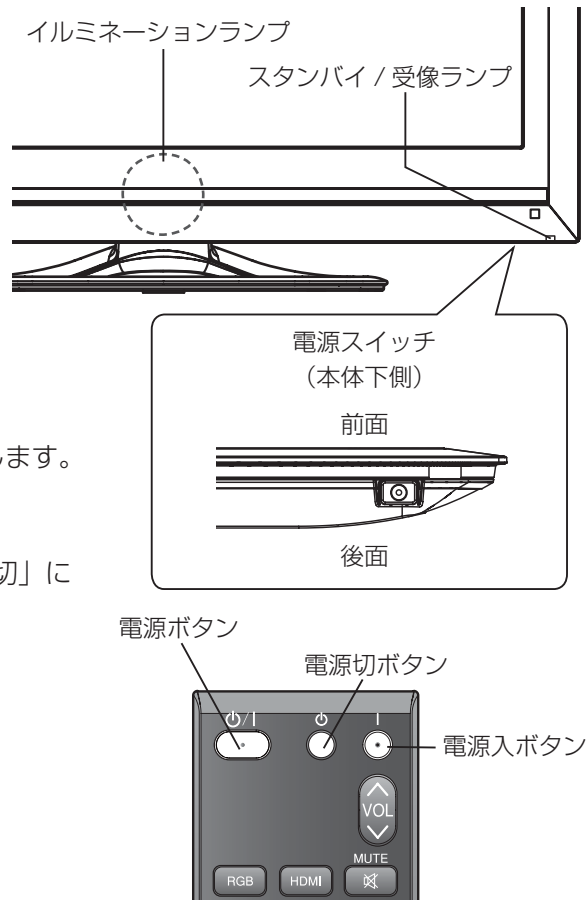
電源を入れる：

1. ディスプレイ本体の電源スイッチを入れます。
   ●スタンバイ / 受像ランプが緑色に点灯し電源が入ります。

2. スタンバイ / 受像ランプが赤く点灯しているときは、リモコンの電源ボタン（ ⏻/I ）または電源入ボタン（ I ）を押すと電源が入ります。

電源を切る：

1. リモコンの電源ボタン（ ⏻/I ）または電源切ボタン（ ⏻ ）を押します。
   ●スタンバイ / 受像ランプが赤色に点灯し、電源が切れます。

2. ディスプレイ本体の電源スイッチを「切」にしても、電源を「切」にできます。

スタンバイ / 受像ランプ、イルミネーションランプの状態と電源状態

スタンバイ / 受像ランプ	イルミネーションランプ	電源状態	お知らせ
オフ	－	オフ	－
赤	－	スタンバイ	－
緑	青	オン	－
橙	－	パワーセーブモード	40 参照

お知らせ

●映像が出ないなどの異常がある場合は、「故障かな？と思ったら」を参照してください。41
●液晶ディスプレイが動作中に停電になった場合、停電の回復とともに電源が入ります。
液晶ディスプレイから離れるときは、本体の電源スイッチを「切」にしておいてください。

基本操作

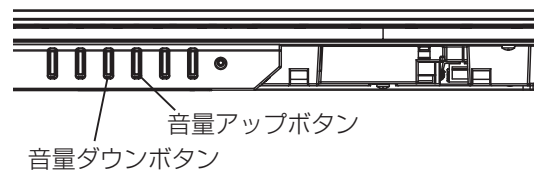
音量を上げる / 下げる

1. 本体またはリモコンの音量アップボタンを押すと、音量が上がります。
2. 本体またはリモコンの音量ダウンボタンを押すと、音量が下がります。

音を消す

1. リモコンのミュートボタン（ MUTE ）を押すと、音が消えます。
2. もう一度ミュートボタン（ MUTE ）を押すと、もとの音量に戻ります。

メ　モ

消音にしたままでも、音量ダウンボタンを押すことにより音量の設定を変えることができます。
音を出すときは、もう一度ミュートボタンを押すか、音量アップボタンを押してください。

HDMI/RGB 入力切換

本体またはリモコンの入力切換ボタン(INPUT)を押すと、HDMI/RGB入力を切り換えることができます。

→ HDMI → RGB (/ コンポジット) ┐

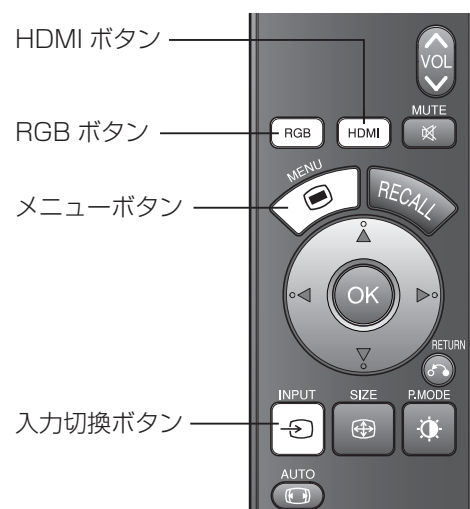
●リモコンの RGB ボタン(RGB)または HDMI ボタン(HDMI)を押すと、直接入力モードを選択できます。

メ　モ

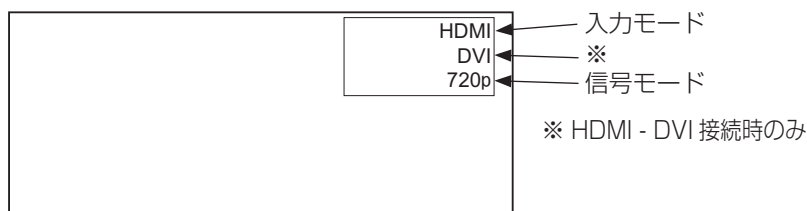
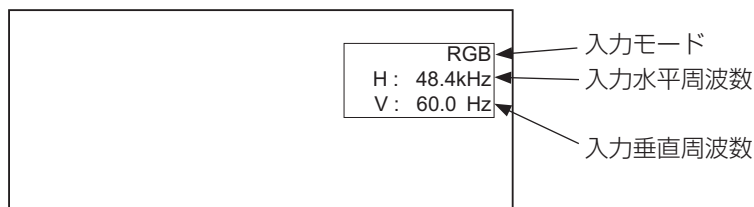
RGB/ コンポジットモード切換について

入力切換ボタンまたは RGB ボタンで RGB 入力に切り換えたとき、RGB またはコンポジット入力のどちらを選択するかを設定できます。

1. RGB またはコンポジットモードでメニューボタンを押す。
2. メニューの初期設定を選択する。
3. 「RGB 入力設定」を選択する。
   ●オプションのミニ D-sub 15 ピン - コンポジットケーブルを通して、ビデオ信号を入力するときは、「コンポジット」を選択します。
   ● PC（パソコン）からの画像入力するときは「RGB」を選択します。

詳しくは、「RGB 入力設定」メニューの設定 35 を参照ください。

入力信号画面表示

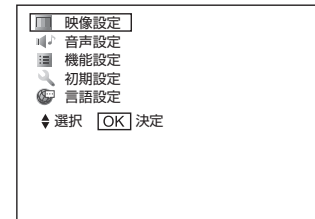
入力信号状態は、リモコンの画面表示ボタン（ RECALL ）を押すと画面に表示できます。

●表示は約 6 秒間表示します。

設置設定

メニュー機能の使いかた

メニューボタン（ ）押すと画面にメニューが表示され、カーソルボタンを使って各機能の設定ができます。

基本操作

1. 本体のメニューボタンまたはリモコンのメニューボタン（ ）を押す。
2. で項目を選ぶ。
   選択された項目は橙色で表示されます。
3. で設定された項目を選び、決定ボタン（ ）を押す。
4. で設定または調節し、設定が終了したら決定ボタン（ ）を押す。
5. メニューボタン（ ）を押して、メニューを消す。

メインメニュー

メニューボタン

メニューボタン

メ　モ

- ●メニュー表示は何も操作しないときは約 1 分で消えます。
- ●メニュー項目がグレー色になっている場合は、設定または調節ができません。

言語設定

メニューの言語を設定することができます。
初期設定は日本語に設定されています。

言語設定方法

1. メニューの「言語設定」を選び、決定ボタン（ ）を押す。
2. で言語を選ぶ。
   選択された項目は黄色で表示されます。
3. 決定ボタン（ ）を押す。
   左側のマークが◉に変わります。
4. メニューボタン（ ）を押して、メニューを消す。

メインメニューリスト

メニュー				ページ
映像設定 (HDMI/ コンポジット)	映像モード		周囲の明るさに応じてお好みのモードを選択できます。	32
	明るさ		映像のコントラストを調節します。	32
	黒レベル		映像の黒レベルを調節します。	32
	色の濃さ		色の濃さを調節します。	32
	シャープネス		映像の画質を調節します。	32
	色あい		肌色が自然に見えるように調節します。	32
	色温度		お好みの色調を選択します。	32
	バックライト		LCD パネルのバックライトの明るさを調節します。	32
	標準に戻す		お買い上げ時の設定に戻します。	32
	Deep Color (UT37/42/47-BX700J のみ)		豊かな色彩でなめらかな階調を再現します。	33
	コントラスト		お好みのコントラストモードを選択します。	33
	3D カラーマネージメント		映像の色の濃さ、色あい、黒レベルが最適になるように調節します。	33
	黒補正		黒レベル補正を調節します。	33
	DNR		ノイズを軽減することができます。	33
	MPEG NR		デジタル放送特有のノイズを軽減することができます。	33
	デジタル Y/C (UT37/42/47-BX700J のみ)		映像のドット状のノイズを軽減することができます。	33
	ゲームモード (UT37/42/47-BX700J のみ)		ゲーム機の操作に対する映像の遅れが軽減できます。	24
	映像クリエーション (UT37/42/47-BX700J のみ)		映画フィルム素材や動画をなめらかに再生することができます。	34
	フィルムシアター (UT32-BH700JB/JW/JR/JA のみ)		映画フィルム素材をなめらかに再生することができます。	34
	3 次元 Y/C		コンポジット入力時に有効となります。色のにじみ、ドットなどを軽減することができます。	33
	標準に戻す		お買い上げ時の設定に戻します。	33
	色温度調節		色温度の詳細設定ができます。	33
映像設定 (RGB)	明るさ		映像のコントラストを調節します。	36
	黒レベル		映像の黒レベルを調節します。	36
	色の濃さ		色の濃さを調節します。	36
	色あい		肌色が自然に見えるように調節します。	36
	色温度		お好みの色調を選択します。	36
	色温度調節		色温度の詳細設定ができます。	36
	バックライト		LCD パネルのバックライトの明るさを調節します。	36
	標準に戻す		お買い上げ時の設定に戻します。	36
音声設定	高音		高音を調節します。(− 15 ～+ 15)	-
	低音		低音を調節します。(− 15 ～+ 15)	-
	バランス		左右のスピーカーの音のバランスを調節します。(− 10 ～+ 10)	-
	サラウンド		音場を拡大することができます。(切 / 入)	-
	バスブースト		低音を強調することができます。(切 / 入)	-
	クリアボイス		音声の明瞭度を向上することができます。(切 / 入)	-
	音量制御		入力ソース間の音量の差を自動的に調節できます。(切 / 入)	-
	スピーカー		外部機器のスピーカーを使用するときは「切」にします。(切 / 入)	-
	標準に戻す		お買い上げ時の設定に戻します。	-
機能設定	システム設定		この機能は無効です。	-
	HDMI コントロール	自動入力切換	HDMI-CEC 対応機器と連携動作を行うときに設定します。	24
		システム OFF 設定	HDMI-CEC 対応機器と連携動作を行うときに設定します。	24
初期設定 (HDMI/ コンポジット)	ビデオパワーセーブ		入力信号がない場合に消費電力を節減することができます。	35
	RGB 入力設定		RGB 入力端子を RGB またはコンポジット入力に設定できます。	35
	カラーシステム		カラーシステムを自動または手動で選択できます。(コンポジット入力選択時のみ)	35
初期設定 (RGB)	自動調節		垂直位置、水平位置、クロック、位相が自動的に調節されます。	37
	水平位置		映像の中心を画面中央に合わせます。	37
	垂直位置		映像の中心を画面中央に合わせます。	37
	クロック		縦縞が最小となるように調節します。	37
	位相		横方向の縞や文字のにじみが最小となるように調節します。	37
	標準に戻す		お買い上げ時の設定に戻します。	37
	周波数表示		信号切換時の周波数表示を設定します。	37
	WXGA モード		入力信号が WXGA の場合、PC の解像度に合わせて選択できます。	37
	RGB 入力設定		RGB 入力端子を RGB またはコンポジット入力に設定できます。	37
言語設定	-		言語の選択ができます。	30

設置設定

HDMI/ コンポジット入力の映像を設定したいとき

1. 外部機器を接続する。（詳しくは、23 ～ 25 を参照してください。）
2. HDMI ボタン（ HDMI ）または入力切換ボタン（ INPUT ）を押して、HDMI 入力に切り換える。
   RGB ボタン（ RGB ）または入力切換ボタン（ INPUT ）を押して、コンポジット入力に切り換える。
   （メニュー「RGB 入力設定」をコンポジットに設定しているときは、コンポジット入力に切り換わります。）
3. メニューボタン（ MENU ）を押す。

映像設定

明るさなどの映像を調節することができます。
メニューの「映像設定」を選びます。

UT37/42/47-BX700J の場合

設定項目	/ 決定		設定のポイント
映像モード	スーパー / スタンダード / シネマティック		設置場所や映像内容に合わせて設定します。 スーパー　　　：明るい場所での視聴に適しています。 スタンダード　：通常のご家庭での視聴に適しています。 シネマティック：映画などの視聴に適しています。 リモコンの映像モードボタン（ P.MODE ）でも選択できます。
明　る　さ	暗くなる	明るくなる	周囲の明るさに合わせて、見やすくなるように調節します。 明るさは、調節値が＋ 31 のときに ボタンを押し続けると、＋ 32 ～＋ 40 の範囲まで調節できるようになります。(このとき表示は赤紫色に変わります。) 暗い映像ソースをご覧になる場合に有効ですが、映像の明るい部分では階調が損なわれることがあります。通常、明るさは＋ 31 までの範囲内でお使いください。
黒レベル	暗い部分がより暗くなる	暗い部分が明るめになる	黒髪の濃さに合わせて、見やすく調節します。
色の濃さ	色が淡くなる	色が濃くなる	お好みの色の濃さに調節します。
シャープネス	やわらかな画質になる	くっきりとした画質になる	ふだんは中央で柔らかい感じにしたいときには一側へ。
色　あ　い	赤っぽくなる	緑っぽくなる	肌色がきれいに見えるように調節します。
色　温　度	高 / 中 / 低		色調を補正するときに設定します。
バックライト	暗くなる	明るくなる	お好みに合わせて見やすい明るさに調節します。
標準に戻す	−		「標準」を選び決定ボタンを押すと、お買い上げ時の設定に戻ります。

映像設定（つづき）

設定項目	/ 決定	設定のポイント
Deep Color (UT37/42/47-BX700Jのみ)	入 / 切	「入」に設定すると、Deep Color 対応機器から出力される豊かな色彩でなめらかな階調を再現します。
コントラスト	ダイナミック / ノーマル リニア	「ダイナミック」：映像の階調にメリハリを付けて、コントラスト感を向上させます。 「ノーマル」：映像の階調とコントラスト感を向上させます。 「リニア」：映像の階調をできるだけ忠実に再現します。
3D カラー マネージメント	入 / 切	「入」: 映像の濃さ、色あい、黒レベルが適正になるように自動的に調整します。 「切」: 自然に見えないときは「切」にします。
黒補正	切 / 弱 / 中 / 強	黒レベル補正を調節します。
3 次元 Y/C	切 / 弱 / 中 / 強	コンポジット入力時に有効となります。色のにじみ、ドットなどを軽減することができます。
標準に戻す	−	「標準」を選び決定ボタンを押すと、お買い上げ時の設定に戻ります。

設定項目	/ 決定			調節のポイント
色温度調節	する / しない			色温度調節機能の「する / しない」を選択します。
R ドライブ	明るい部分の赤がおさえられる	−63 〜 0	調節しない	明るい部分の色調をお好みに合わせて調節します。
G ドライブ	明るい部分の緑がおさえられる	−63 〜 0	調節しない	
B ドライブ	明るい部分の青がおさえられる	−63 〜 0	調節しない	
R カットオフ	暗い部分の赤がおさえられる	−31 〜 +31	暗い部分が赤っぽくなる	暗い部分の色調をお好みに合わせて調節します。
G カットオフ	暗い部分の緑がおさえられる	−31 〜 +31	暗い部分が緑っぽくなる	
B カットオフ	暗い部分の青がおさえられる	−31 〜 +31	暗い部分が青っぽくなる	
標準に戻す	−			「標準」を選び決定ボタンを押すと、お買い上げ時の設定に戻ります。

ノイズ低減

不要な映像 / ノイズを軽減することができます。
メニューの「映像設定」を選びます。

UT37/42/47-BX700J の場合

設定項目	/ 決定	設定のポイント
DNR	切 / 弱 / 中 / 強	ノイズを軽減することができます。
MPEG NR	切 / 弱 / 強	デジタル放送特有のブロックノイズ（モザイク状のノイズ）などを軽減することができます。
デジタル Y/C (UT37/42/47-BX700Jのみ)	切 / 弱 / 強	映像のドット状ノイズや色のにじみを軽減することができます。映像により効果が少ない場合があります。

HDMI/ コンポジット入力の映像を設定したいとき（つづき）

フィルムシアター / 映像クリエーション設定

映画フィルム素材や動画をなめらかに再生するように設定できます。
メニューの「映像設定」を選びます。

UT37/42/47-BX700J の場合

UT32-BH700J のみ

設定項目	/ 決定	設定のポイント
フィルムシアター	入 / 切	「入」：映画フィルム素材を自動的に検知して、元のフィルム映像に忠実に再現します。 「切」：映像の切り換わり時が自然に見えないときは「切」にします。

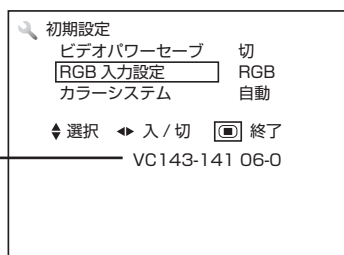
UT37/42/47-BX700J のみ

設定項目	/ 決定	設定のポイント
映像クリエーション	切 / フィルムシアター / なめらかシネマ / なめらか動画	「フィルムシアター」：映画フィルム素材を自動的に検知して、元のフィルム映像に忠実に再現します。 「なめらかシネマ」：映画フィルム素材を自動的に検知して、補間処理によりなめらかで美しいフィルム映像を再現します。 「なめらか動画」：補間処理により動画をなめらかに再現します。映画フィルム素材の自動検出は「切」になります。 「切」：映像の切り換わり時が自然に見えないときは「切」にします。

お知らせ

なめらかシネマ / フィルムシアターモードについて
映像内容により不自然な映像に見える場合があります。
●映画の字幕や映像が切り換わるときに細かい横スジ状に見える。
● CM やアニメーションなどのシーンの切り換わりで、映像が細かい横スジ状に見える。
●テロップや字幕が流れたときに、文字がギザギザに見える。
●コンポジット入力に外部機器を接続してご覧の場合、外部機器の OSD 表示が細かい横スジ状に見えたりする。
これらの現象は映像の製作方法によるもので、故障ではありません。気になる場合は、「切」でご覧ください。
なお、ワイドモードの設定により、映像のシーンに効果の違いが出る場合があります。
また、映像のシーンによっては効果がない場合もあります。

その他の設定

メニューの「初期設定」を選びます。

設定項目	/ 決定	設定のポイント
ビデオパワーセーブ	入 / 切	詳しくは 40 を参照してください。
RGB 入力設定	RGB/ コンポジット	ミニ D-sub 15 ピン - コンポジットケーブルを使用するときのみ有効です。 RGB またはコンポジットを選択できます。
カラーシステム	自動	ミニ D-sub 15 ピン - コンポジットケーブルを使用して、コンポジット入力を使用するときに有効です。 通常は「自動」を選択します。入力信号にノイズが多い場合など「自動」設定では不安定な場合に入力信号のカラーシステムに応じてシステムを選択します。
	PAL	
	SECAM	
	NTSC4.43	
	NTSC3.58	
	PAL60	
	PAL-M	
	PAL-N	

お知らせ

RGB/ コンポジットケーブルについて

オプションのミニ D-sub 15 ピン - コンポジットケーブルを使用することにより、ビデオ出力端子付機器と接続することができます。

1. オプションのミニ D-sub 15 ピン - コンポジットケーブルを使用して、外部機器と接続する。
2. RGB ボタン（RGB）または入力切換ボタン（INPUT）を押して、RGB 入力に切り換える。
3. メニューボタン（MENU）を押してメニューの「初期設定」を選択する。
4. 「RGB 入力設定」メニューで「コンポジット」を選択する。

PC（パソコン）の映像を設定したいとき

1. PC（パソコン）と接続する。（詳しくは、PC（パソコン）と接続する 25 を参照ください。）
2. RGB ボタン（ RGB ）または入力切換ボタン（ INPUT ）を押して、RGB 入力に切り換える。
3. メニューボタン（ MENU ）を押す。

映像設定

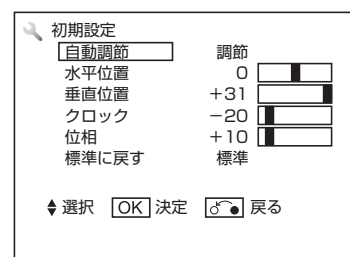
明るさなどの映像を調節することができます。

メニューの「映像設定」を選びます。

映像設定 項目	/ 決定		設定のポイント
明るさ	暗くなる	明るくなる	周囲の明るさに合わせて、見やすく。 明るさは、調節値が＋ 31 のときにボタンを押し続けると、＋ 32 ～＋ 40 の範囲まで調節できるようになります。(このとき表示は赤紫色に変わります。) 暗い映像ソースをご覧になる場合に有効ですが、映像の明るい部分では階調が損なわれることがあります。通常、明るさは＋ 31 までの範囲内でお使いください。
黒レベル	暗い部分がより暗くなる	暗い部分が明るめになる	黒の信号レベルが黒になるように。
色の濃さ	色が淡くなる	色が濃くなる	お好みの濃さに。
色あい	赤っぽくなる	緑っぽくなる	肌色がきれいに見えるように。
色温度	低 / 中 / 高		色調を補正するときに設定します。
色温度調節	−		決定ボタンを押すと詳細設定ができます。
バックライト	暗くなる	明るくなる	お好みに合わせて見やすい明るさに。
標準に戻す	−		「標準」を選び決定ボタンを押すと、お買い上げ時の設定に戻ります。

映像設定 項目	/ 決定			調節のポイント
色温度調節	する / しない			色温度調節機能の「する / しない」を選択します。 「する」に設定すると､お好みに合わせて色温度を調節することができます。
R ドライブ	明るい部分の赤がおさえられる	−63 ～ 0	調節しない	明るい部分の色調をお好みに合わせて調節します。
G ドライブ	明るい部分の緑がおさえられる	−63 ～ 0	調節しない	
B ドライブ	明るい部分の青がおさえられる	−63 ～ 0	調節しない	
R カットオフ	暗い部分の赤がおさえられる	−31 ～ +31	暗い部分が赤っぽくなる	暗い部分の色調をお好みに合わせて調節します。
G カットオフ	暗い部分の緑がおさえられる	−31 ～ +31	暗い部分が緑っぽくなる	
B カットオフ	暗い部分の青がおさえられる	−31 ～ +31	暗い部分が青っぽくなる	
標準に戻す	−			「標準」を選び決定ボタンを押すと、調節量が 0 に戻ります。

画面設定

RGB 入力の画面位置などを調節することができます。

メニューの「初期設定」を選びます。

設定項目	/ 決定	設定のポイント
自動調節	–	「調節」を選び決定ボタンを押すと、垂直位置、水平位置、クロック、位相が自動的に調節されます。 リモコンの自動調節ボタン（AUTO）でも調節できます。
水平位置	− 63 〜+ 63	映像の中心を画面中央に合わせます。
垂直位置	− 31 〜+ 31	映像の中心を画面中央に合わせます。
クロック	− 31 〜+ 31	縦方向の大きな縞が最小になるように調節します。
位相	0 〜+ 63	横方向の縞や、文字のにじみが最小となるように設定します。
標準に戻す	–	「標準」を選び決定ボタンを押すと、お買い上げ時の設定に戻ります。

その他の設定

メニューの「初期設定」を選び、2 ページ目を表示させます。

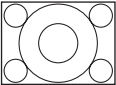
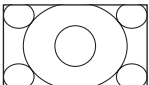
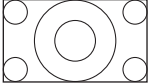
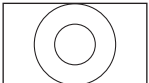
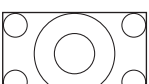
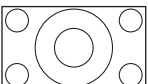
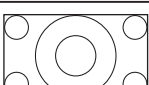
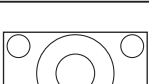
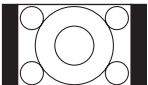
設定項目	/ 決定	設定のポイント
周波数表示	入 / 切	信号切換時の周波数表示を設定します。
WXGA モード	切 /1280 x 768 /1360 x 768	入力信号が WXGA の場合、PC の解像度に合わせて選択します。
RGB 入力設定	RGB	ミニ D-sub 15 ピン - コンポジットケーブルを使用するときのみ有効です。 RGB またはコンポジットを選択できます。 詳しくは 29 を参照してください。
	コンポジット	

機能

画面サイズを調節したいとき

リモコンのワイド切換ボタン（SIZE）を押すごとに、
画面サイズを切り換えることができます。

HDMI/ コンポジット信号入力

画面サイズ

ハイビジョン以外（SD）のHDMI入力(480i、480p、576i、576p)、コンポジット入力時

ノーマル → スムーズ1 → スムーズ2 → ズーム1 → ズーム2 → フル →（ノーマルに戻る）

ハイビジョン（HD）のHDMI入力(720p、1080i、1080p)時

スタンダード → フルHD → ズーム →（スタンダードに戻る）

入力信号	画面表示	ワイドモード	設定のポイント
SD(Standard Definition) 映像信号の場合			
(4:3)		ノーマル	通常の４：３の映像は中央に映ります。
		スムーズ 1	４：３の映像を画面中央の真円度を保ち、水平方向を正面一杯にし、垂直方向を拡大して表示します。
		スムーズ 2	スムーズ 1 の垂直方向を画面一杯に表示します。
(ビスタ)		ズーム 1	ビスタサイズの映画などを水平・垂直方向に拡大して表示します。
(シネマ)		ズーム 2	シネマサイズの映画などを水平・垂直方向に拡大して表示します。
(スクイーズ)		フル	横方向を圧縮して処理された映像（スクイーズ映像）を水平方向に画面一杯に表示します。
HD(High Definition) 映像信号の場合			
(16:9)		スタンダード	横方向を圧縮して処理された映像（スクイーズ映像）を水平方向に画面一杯に表示します。
		フル HD	ハイビジョン番組をオリジナルな映像で楽しむときなどに使用します。
(16:9)		ズーム	16：９映像で左右に帯のある映像を拡大することができます。

HDMI/ コンポジット信号入力（つづき）

画面位置調整

スムーズ 1、ズーム 1、ズーム 2 モードは、画面垂直位置を調節できます。

1. ワイドモード表示中に▲▼を押す。
   画面位置表示が表示されます。
2. ▲▼で画面位置を調節する。
   調節範囲は以下の通りです。

画面サイズ	調節範囲
スムーズ 1	− 12 〜 +12
ズーム 1、ズーム 2	− 31 〜 +31

▲を押す

▼を押す

⚠注意
ワイド画面ディスプレイの使い方について
●本機は、各種の画面モード切り換え機能を備えています。テレビ番組等ソフトの映像比率と異なるモードを選びますと、オリジナルの映像とは見えかたに差が出ます。この点にご留意のうえ、画面モードをお選びください。
●本機を営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等において、ワイド機能を使った拡大状態で使用されますと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意願います。
●ワイド映像でない従来（通常）の４：３の映像をスムーズモードを利用して、ワイドテレビの画面いっぱいに表示してご覧になると、周辺画像が一部見えなくなったり変形して見えます。制作者の意図を尊重したオリジナルな映像は、ノーマルモードでご覧ください。

RGB 信号入力

画面サイズ

→ ノーマル ←→ フル ←→ リアル ←

お知らせ
リアルモードは、入力信号の解像度がパネルの解像度（画素数）より高い場合は選択できません。

解像度	入力信号	フル	ノーマル	リアル
640 X 480 (VGA) 800 X 600 (SVGA) 1024 X 768 (XGA) 1280 X 1024 (SXGA)				
640 X 400 (VGA) 1280 X 768 (WXGA) 1360 X 768 (WXGA)				

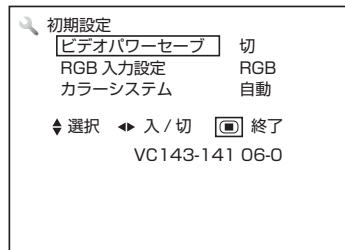
機能

パワーセーブモード

HDMI/ コンポジット入力選択時

HDMI/ コンポジット入力選択時に、入力信号が無くなったことを検知して自動的に消費電力を低減する機能です。
「初期設定」メニューの「ビデオパワーセーブ」により設定できます。

1. HDMI/ コンポジット入力を選択し、メニューボタン（MENU）を押す。
2. メニューの「初期設定」を選択し、決定ボタン（OK）を押す。
3. 「ビデオパワーセーブ」を選択する。

初期設定
ビデオパワーセーブ　切
RGB 入力設定　RGB
カラーシステム　自動
選択　入／切　終了
VC143-141 06-0

ビデオパワーセーブ	切
	入

無信号検出時		ビデオパワーセーブで信号が入力されたとき
状態	表示ランプ	
パワーセーブ	橙	自動的に復帰します。

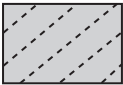
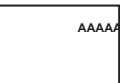
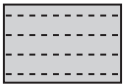
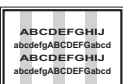
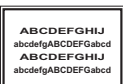
RGB 入力選択時

VESA DPMS 対応 PC が接続されている時、PC を使用していない場合にパワーセーブモードが自動的に設定され、本体の消費電力を低減できます。

RGB 同期信号	水平	有	無	有	無
	垂直	有	有	無	無
PC 信号		通常使用状態	PC からの水平 / 垂直同期のいずれかまたは両方が無い状態		
動作状態		オン状態	パワーセーブ状態		
表示ランプ		緑	橙		

● PC を操作したり、本体の入力切換ボタンまたはリモコンの入力切換ボタン（INPUT）、RGB ボタン（RGB）または HDMI ボタン（HDMI）を押すと、動作モードに復帰します。

故障かな？と思ったら

症状に応じて以下の確認を行ってください。症状が改善されない場合は、ご自分で修理をなさらず、お買い上げの販売店へご連絡ください。

画面にメッセージが表示されたとき

メッセージ	確認内容	参照ページ
パワーセーブ	パワーセーブモードに入っています。 パワーセーブモードに入る前に 5 秒間表示します。 スタンバイ / 受像ランプが橙色に点灯します。	40
信号を入力してください	入力端子からの信号が検出できない状態です。 ●ケーブルが正しく確実に接続されているか確認してください。 ●外部機器の電源が入っていることを確認してください。 ●接続端子と入力選択が合っているか確認してください。 ● PC がパワーセーブモードでないか確認してください。	23 ～ 25 40
信号を確認してください	対応していない信号を受信しています。 ●ケーブルが正しく確実に接続されているか確認してください。 ●入力信号が本機で対応している信号に適合しているか確認してください。	46
操作できません	操作しようとしているリモコンや本体のボタンが有効でないときに表示されます。	—
自動調整中	RGB モードで自動調節が動作中のときに表示されます。	37

故障かな？と思ったら

症状と確認内容

症状	確認内容	参照ページ
映像が出ない、音も出ない	●スタンバイ / 受像ランプを確認してください。（オフ、赤、緑、橙） ●電源コードの挿入を確認してください。 ●本体の電源、外部機器の電源が入っているか確認してください。 ●正しい入力端子が選択されているか確認してください。 ●本体がスタンバイ / パワーセーブモードになっていないか確認してください。 ●映像メニュー / 音声メニューの数値を調節してください。	23 ～ 27 29 , 40
音が出ない（映像は出る）	●音量レベルを確認してください。 ●ミュートボタンが押されたかどうか確認してください。 ●外部機器の接続を確認してください。 ●リモコンの画面表示ボタン（ RECALL ）を押して、入力信号画面表示に「DVI」と表示される場合は、アナログ音声信号を PC(RGB)/DVI アナログ音声入力端子に接続してください。 ●音声設定メニューの「スピーカー」設定を確認してください。	23 , 28 29 , 31
映像が出ない（音は出る）	●映像設定メニューの「黒レベル」「明るさ」の調節レベルを確認してください。 ●外部機器の接続を確認してください。 ● RGB またはコンポジット入力で、初期設定メニューの「RGB 入力設定」を確認してください。	32 , 35 36
リモコンが操作できない	●リモコン送信機の乾電池の寿命がなくなっているときは新しい乾電池と交換してください。 ●リモコン受信窓の前にある障害物を取り除いてください。 ●本体側の操作ボタンが動作するか確認してください。	20 , 22
リモコンと本体の操作ボタンが動作しない	●電源コードが抜けていないか確認してください。 ●本体のリセットボタンを 1 秒以上押してみてください。	21 , 26
色が付かない（音は出る）	●映像機器の接続を確認してください。 ●コンポジット入力の「カラーシステム」設定を確認してください。	23 ～ 25 35
映像が出ない 受像ランプが消えている	●電源コードが抜けていないか確認してください。 ●電源スイッチがオンであることを確認してください。	26 , 27
映像が出ない（受像ランプが橙色） （パワーセーブモード）	●外部機器からのケーブルが正しく接続されているか確認してください。 ●外部機器の電源が入っているか確認してください。 ● HDMI 入力モードが正しく選択されているか確認してください。 ● PC がパワーセーブモードでないか確認してください。	40
映像が出ない（受像ランプが緑色）	●信号ケーブルが正しく接続されているか確認してください。 ●「黒レベル」「明るさ」が低くなっていないか確認してください。	23 ～ 25 32 , 36
本体の上部やパネルの表面が熱い	●長時間使用したときなどに、上部パネル表面が熱くなることがありますが、故障ではありません。	―
いくつかのワイドモードが切り換えできない	●リモコンの画面表示ボタン（ RECALL ）を押すと、信号の状態が確認できます。現在の信号状態ではワイド切換が有効でない場合があります。	29 38 , 39
HDMI 入力から映像が出ない	●ケーブルが正しく接続されているか確認してください。 ●推奨信号か確認してください。 ●一部の機器では、正常に動作しないことがあります。	23 , 46
RGB または DVI 入力モードのとき映像と音声が合わない	● PC(RGB)/DVI アナログ音声入力端子に同じ外部機器が接続されているか確認してください。	23 , 25

症状		確認内容	参照ページ
画面の映像が斜めに流れる （RGB 入力時）		●メニューの「クロック」と「位相」を調節します。	37
フル表示画面で粗い縦縞が見える （RGB 入力時）		●メニューの「クロック」を調節します。	37
画像の一部が抜ける （RGB 入力時）	AAAAA	●メニューの「自動調節」を行うかまたはリモコンの自動調節ボタン（AUTO）を押します。 ●入力信号が WXGA のときは、WXGA モードを選択します。 ●入力信号が本機の推奨信号と合っているか確認してください。	37 37 46
フリッカにより横筋が上下に移動する （RGB 入力時）		●リモコンの画面表示ボタン（RECALL）を押して PC の信号状態を確認してください。	29
画面全体に文字列を表示すると、画面縦列の文字がにじんで表示される （RGB 入力時）	ABCDEFGHIJ abcdefgABCDEFGabcd ABCDEFGHIJ abcdefgABCDEFGabcd	●メニューの「自動調節」を行うかまたはリモコンの自動調節ボタン（AUTO）を押します。 ●自動調節で改善されないときは、メニューの「クロック」を調節します。	37
画面全体に文字列を表示すると画面全体の文字がにじんで表示される （RGB 入力時）	ABCDEFGHIJ abcdefgABCDEFGabcd ABCDEFGHIJ abcdefgABCDEFGabcd	●メニューの「自動調節」を行うかまたはリモコンの自動調節ボタン（AUTO）を押します。 ●自動調節で改善されないときは、最もくっきり見えるようにメニューの「位相」を調節します。	37
細かい模様を表示させたときに画面がちらつく （RGB 入力時）		●メニューの「自動調節」を行うかまたはリモコンの自動調節ボタン（AUTO）を押します。 ●自動調節で改善されないときは、フリッカが見えなくなるようにメニューの「位相」を調節します。	37
画面位置がずれている （RGB 入力時）		リモコンの画面表示ボタン（RECALL）を押して入力信号が本体の仕様に適合しているか確認してください。	29，46

仕様

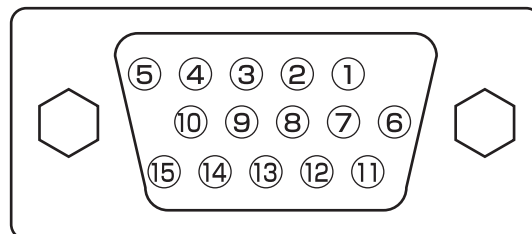
形　　名		UT32-BH700JB/JW/JR/JA	UT37-BX700J	UT42-BX700J	UT47-BX700J
受信機型サイズ		32V	37V	42V	47V
パネル	パネル	32 型 液晶ディスプレイパネル（16：9）	37 型 液晶ディスプレイパネル（16：9）	42 型 液晶ディスプレイパネル（16：9）	47 型 液晶ディスプレイパネル（16：9）
	表示画素数	水平 1366 x 垂直 768	水平 1920 x 垂直 1080	水平 1920 x 垂直 1080	水平 1920 x 垂直 1080
表示寸法		幅 69.8 ×高さ 39.2 / 対角 80.1（cm）	幅 81.9 ×高さ 46.1 / 対角 94.0（cm）	幅 93.0 ×高さ 52.3 / 対角 106.7（cm）	幅 104.0 ×高さ 58.5 / 対角 119.3（cm）
音声実用最大出力		6.0W ＋ 6.0W（JEITA）			
スピーカー		(ø3.5cm x 2） x 2			
電　　源		AC100V 50/60Hz 共用			
動作保証温度		5 ～ 35℃			
消費電力		117W	164W	222W	259W
		待機時約 0.5W			
端　　子		HDMI 入力端子 ………… 1 個 RGB 入力端子 ………… 1 個 RS-232C 端子 ………… 1 個 音声入力端子（ミニジャック） …… 1 個 IR 端子 ………… 1 個			
外形寸法（突起部分含まず）	スタンド無し	幅 81.4 ×高さ 53.8 ×奥行 3.9（最薄部 3.5）(cm)	幅 93.6 ×高さ 60.7 ×奥行 3.9（最薄部 3.5）(cm)	幅 103.6 ×高さ 67.8 ×奥行 3.9(最薄部 3.5)(cm)	幅 114.6 ×高さ 74.5 ×奥行 3.9(最薄部 3.5)(cm)
	スタンド付き	幅 81.4 ×高さ 58.7 ×奥行 24.9（cm）	幅 93.6 ×高さ 65.7 ×奥行 31.0（cm）	幅 103.6 ×高さ 72.8 ×奥行 31.0（cm）	幅 114.6 ×高さ 79.5 ×奥行 31.0（cm）
質　量	スタンド無し	10.9kg	14.6kg	18.0kg	21.9kg
	スタンド付き	13.5kg	17.4kg	20.9kg	24.8kg
付属品		リモコン送信機 ………… 1 個 単 3 形乾電池 ………… 2 個 取扱説明書 ………… 1 冊 他詳細は 18 を参照してください。			

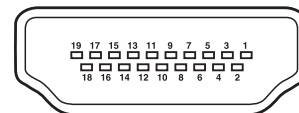
●本仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。
●本製品は「JIS C 61000-3-2 適合品」です。

JIS C 61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立性－第 3-2 部：限度値－高調波電流発生限度値 (1 相当たりの入力電流が 20A 以下の機器)」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

信号入力

RGB 端子（ミニ D-sub 15 ピン コネクター）

ピン No.	入力信号
1	R
2	G/Composite
3	B
4	No connection
5	No connection
6	R.GND
7	G.GND/Composite
8	B.GND
9	+5V
10	GND
11	No connection
12	[SDA]
13	H.sync
14	V.sync.
15	[SCL]

HDMI コネクター

ピン No.	入力信号	ピン No.	入力信号
1	TMDS Data2+	11	TMDS Clock Shield
2	TMDS Data2 Shield	12	TMDS Clock-
3	TMDS Data2-	13	CEC
4	TMDS Data1+	14	Reserved(N.C. on device)
5	TMDS Data1 Shield	15	SCL
6	TMDS Data1-	16	SDA
7	TMDS Data0+	17	DDC/CEC Ground
8	TMDS Data0 Shield	18	+5V Power
9	TMDS Data0-	19	Hot Plug Detect
10	TMDS Clock+		

推奨信号について

HDMI 入力信号

No.	信号モード			水平周波数 (kHz)	ドットクロック 周波数 (MHz)	備考
	信号名	解像度	垂直周波数 (Hz)			
1	VGA	640 X 480	59.94	31.47	25.18	CEA-861D
2	576i	720(1440) X 576	50.00	15.63	27.00	CEA-861D
3	480i	720(1440) X 480	59.94	15.73	27.00	CEA-861D
4	576p	720 X 576	50.00	31.25	27.00	CEA-861D
5	480p	720 X 480	59.94	31.47	27.00	CEA-861D
6	1080i/50	1920 X 1080	50.00	28.13	74.25	CEA-861D
7	1080i/60	1920 X 1080	60.00	33.75	74.25	CEA-861D
8	720p/50	1280 X 720	50.00	37.50	74.25	CEA-861D
9	720p/60	1280 X 720	60.00	45.00	74.25	CEA-861D
10	1080p/50	1920 X 1080	50.00	56.25	148.50	CEA-861D
11	1080p/60	1920 X 1080	60.00	67.50	148.50	CEA-861D
12	1080p/24	1920 X 1080	24.00	27.00	74.25	CEA-861D

RGB 入力信号

信号名	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	ドットクロック 周波数 (MHz)	同期信号極性 (H/V)	備考
640 x 400 @ 70Hz	31.469	70.086	25.175	− / +	VGA
640 x 480 @ 60Hz	31.469	59.940	25.175	− / −	VGA
800 x 600 @ 60Hz	37.879	60.317	40.000	+ / +	VESA
1024 x 768 @ 60Hz	48.363	60.004	65.000	− / −	VESA
1280 x 768 @ 60Hz	47.776	59.870	79.500	− / +	VESA / WXGA Mode : 1280x768
1280 x 1024 @ 60Hz	63.981	60.020	108.000	+ / +	VESA
1360 x 768 @ 60Hz	47.712	60.015	85.500	+ / +	VESA / WXGA Mode : 1360x768

●使用するビデオカードや接続ケーブルにより、正しく表示できないことがあります。この際は、垂直位置、水平位置、クロック、位相を調節してください。
●本機では、水平周波数、垂直周波数、水平同期信号極性、および垂直同期信号極性によって信号モードを区別します。これら全ての要素が同じかきわめて似ている場合には、異なる信号であっても同一の信号として扱われる場合がありますのでご注意ください。

保証とアフターサービス（必ずご覧ください。）

修理を依頼されるときは
(出張修理)

41 ～ 43 ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

保証書（別添）

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みの後大切に保管してください。

保証対象装置：本体　お手持ちの機種名

保証期間…お買い上げ日から 1 年です。

補修用性能部品の保有期間

補修用性能部品の保有期間は、製造打切後 8 年です。

性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または最寄りの「ご相談窓口」にお問い合わせください。

ご連絡していただきたい内容

品　　名	日立液晶ディスプレイ
形　　名	本　体　：UT32-BH700JB UT32-BH700JW UT32-BH700JR UT32-BH700JA UT37-BX700J UT42-BX700J UT47-BX700J リモコン：C-RQ2
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご　住　所	付近の目印なども 合わせてお知らせください。
お　名　前	
電 話 番 号	
訪問ご希望日	

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

修理料金のしくみ

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費などが含まれています。

＋

部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。

＋

出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

ご購入店名、ご購入日を記入しておいてください。サービスを依頼されるときに便利です。

ご購入店名	ご購入年月日
電話（　　　）	年　月　日

長年ご使用の液晶ディスプレイの点検をぜひ！

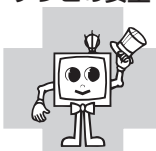
熱、湿気、ほこりなどの影響や、使用度合いにより部品が劣化し、故障したり、時には安全を損なって事故につながることもあります。

このような症状はありませんか

- ●電源スイッチを入れても映像や音が出ない。
- ●上下、または左右の映像が欠けて映る。
- ●映像が時々、消えることがある。
- ●変なにおいがしたり、煙が出たりする。
- ●電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。
- ●内部に水や異物が入った。

➡

ご使用中止

故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグをはずし必ず販売店にご相談ください。

お客様ご相談窓口

日立家電品についてのご相談や修理はお買上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに関するご相談は
エコーセンターへ

TEL 0120-3121-68
FAX 0120-3121-87

（受付時間）
9：00 ～ 19：00（365 日）
携帯電話、PHS からもご利用できます。

商品情報やお取り扱いについてのご相談は
家電ビジネス情報センターへ

TEL 0120-3121-19
FAX 0120-3121-34

（受付時間）9：00 ～ 17：30（月～土）
日曜・祝日と年末年始・夏期休暇など弊社の休日は休ませていただきます。
携帯電話、PHS からもご利用できます。

- 「持込修理」および「部品購入」については、上記エコーセンターまたは家電ビジネス情報センターにて、各地区のサービスセンターをご紹介させていただきます。
- お客様が弊社にお電話いただいた場合には、正確にご回答するために、通話内容を記録（録音など）させていただくことがあります。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
- 修理をご依頼いただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただくことがあります。